

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人
邑南町社会福祉協議会

令和4年度事業報告目次

【総務課】

1.	総括 諸会議（理事会・評議員会）	1頁～3頁
2.	監査会・各種委員会・定款・諸規程・表彰審査会・三役会	4頁
3.	課長会議	5～6頁
4.	法人地域貢献・自主財源の造成と適正運用	7頁
5.	新盆お供え配布事業・社協会費	7頁
6.	邑南町老人クラブ連合会支援・出張研修・新型コロナウイルス感染症在宅支援	7～8頁
7.	新型コロナウイルス職員感染状況	9頁

【地域福祉課】

1.	地域共生社会事業の推進	10頁
2.	高齢者福祉サービスの実施（地域支援事業）	11頁
3.	一人暮らし高齢者支援・生きがいと健康づくり推進	12～13頁
4.	シルバー人材センター	13～14頁
5.	障がい者福祉推進事業・当事者・団体等への支援	14頁
6.	地区社会福祉協議会	15～17頁
7.	ボランティアセンター事業	17～19頁
8.	児童・青少年福祉推進事業	20～21頁
9.	共同募金	22頁

【生活支援課】

1.	総合相談事業・権利擁護センター事業	23頁
2.	生活困窮者自立相談支援事業	24～25頁
3.	生活支援事業	26頁

【居宅介護支援事業】

1.	居宅介護支援事業	27～31頁
2.	福祉用具貸与・販売事業	31～34頁

【西部介護保険課】

1.	通所介護事業	35～36頁
2.	訪問介護事業	37～38頁
3.	訪問看護事業	39～40頁

【東部介護保険課】

1.	通所介護事業	41頁
2.	訪問介護事業	42頁
3.	軽度生活支援ハウス	43頁

令和4年度邑南町社会福祉協議会事業報告

I. 総括

新型コロナウイルス感染症の対応は本町におけるワクチン接種などの予防対策に一定の効果が示されていたにもかかわらず、本会にあっては総合社会福祉大会の中止、デイサービス事業所の閉鎖、居宅介護支援事業所の分散勤務、濃厚接触による休暇の取得などこれまで以上に新型コロナウイルスが身近なものとなった1年だったと考えます。

著しい人口減少が報告される中、地域における支援者を頼りに活動展開を主戦とする本会のあり方にも歪が生じており社会構造の変化に対応できていない状態ではないかと考えます。

【重点目標について】

1. 法人の運営
(財務規律の強化)
 - ・会計システム(TKC)導入により管理体制を強化し透明性の向上を図った
 - ・部会開催(総務部会・地域福祉部会・介護保険事業部会)
2. 地域福祉推進
 - ・地域包括ケアシステム(生活支援コーディネーター)
支え合い会議 10地区(口羽・阿須那・井原・矢上・日和・日貫・田所
高原・布施・市木)
 - 支え合い会議実証実験
3地域(市木・阿須那・井原)
 - ・福祉教育の推進
 - ・権利擁護センター(地域共生社会実現)
3. 介護保険・障がい福祉サービス事業所
 - ・居宅介護支援事業所
 - ・訪問介護事業所
 - ・通所介護事業所
 - ・訪問看護事業所
 - ・福祉用具貸与、販売事業所
4. 地域支援事業
 - ・配食サービス(昼食の実施)

II. まとめ

新型コロナウイルス感染症を視野に入れながらの事業展開であったが、地域福祉推進における訪問や交流活動、権利擁護センターの施設等への訪問に対し少なからず影響を受けているが工夫をしながらの対応を行った。

併せて権利擁護センターにおいては本会専門委員だけでなく、支援員の登用による対応も行っており受け持ち担当に併せ会議・研修を重ね質の確保も行った。

介護保険事業においては、収支に関する議論が中心となるがそれぞれの事業所においては利用者の増、経費節減等努力を重ねており在宅生活をされる方に寄り添いながら支援を行った。

1. 諸会議

1. 理事会の開催状況

回数	開催月日 開催場所	議事及び協議事項
第1回	令和4年5月26日 社会福祉協議会 会議室 理事11名出席 監事3名出席	<p>(議案事項)</p> <p>議案第1号 令和3年度事業報告について 【承認】</p> <p>議案第2号 令和3年度計算書類について 【承認】</p> <p>議案第3号 令和3年度財産目録について 【承認】</p> <p>議案第4号 社会福祉充実残高の承認について 【承認】</p> <p>議案第5号 令和4年度社会福祉事業補正予算(第1号)について 【承認】</p> <p>議案第6号 令和4年度公益事業補正予算(第1号)について 【承認】</p> <p>議案第7号 評議員会の開催について 【承認】</p> <p>議案第8号 評議員選任・解任委員会の開催について 【承認】</p> <p>議案第9号 評議員候補者の選任について(口羽・林) 【承認】</p> <p>(報告事項)</p> <p>1. 新型コロナウイルスについて</p> <p>2. 定款変更について</p>
第2回	令和4年9月15日 社会福祉協議会 会議室 理事8名出席 監事3名出席	<p>(議案事項)</p> <p>議案第10号 評議員選任・解任委員の選任について 【承認】 (光田雅巳氏就任)</p> <p>(報告事項)</p> <p>1. 島根県社会福祉協議会会長表彰について</p> <p>2. 定款変更に伴う規程の条づれについて</p> <p>3. 地域福祉課配食車購入について</p> <p>4. 部会・委員会の開催について</p> <p>5. チャリティ神楽大会について</p> <p>6. 邑南町総合社会福祉大会について</p> <p>7. 新型コロナウイルスについて</p> <p>8. 社会福祉士養成課程実務研修(福山平成大学)</p> <p>(連絡事項)</p> <p>1. 共同募金運動について</p>
第3回	令和4年12月21日 社会福祉協議会 会議室 理事13名出席 監事2名出席	<p>(議案事項)</p> <p>議案第11号 インターネットバンキング規程の制定について 【承認】</p> <p>議案第12号 育児介護休業等に関する規程の一部改正について 【承認】</p> <p>(報告事項)</p> <p>1. 介護保険事業部会について</p> <p>2. 県民福祉大会について</p> <p>3. 県社協トップミーティングについて</p> <p>4. 表彰審査会について</p> <p>5. ボランティアの日について</p> <p>6. 邑南町総合社会福祉大会について</p> <p>7. 総務部会について</p> <p>8. 中間監査について</p> <p>9. チャリティプロレスについて</p> <p>(連絡事項)</p> <p>1. おせち料理の配布について</p>
第4回	令和5年3月22日 社会福祉協議会 会議室 理事14名出席 監事3名出席	<p>(議案事項)</p> <p>議案第13号 令和4年度社会福祉事業補正予算(第2号)について 【承認】</p> <p>議案第14号 組織、職員の職の設置及び所掌事務に関する規程の一部改正について 【承認】</p> <p>議案第15号 令和5年度事業計画(案)について 【承認】</p>

		議案第 16 号 令和 5 年度予算（案）について 議案第 17 号 評議員会の開催について （報告事項） 1. 1/26 三役会の開催 2. 2/7～8 県社協トップミーティングについて 3. 2/10 地域福祉部会の開催 4. 2/21 介護保険事業部会の開催 5. 2/21 奨学生選考委員会の開催 6. 2/24 邑智郡 3 町村社協役員研修会（川本町） 7. 奨学資金貸与規程一部改正について 8. 新型コロナウイルス対応について 9. 令和 5 年度職員異動について （連絡事項） 1. 小中学校卒業式・入学式について 2. マスク着用について 3. 今後の予定について 退職辞令の交付（3/31） 辞令交付、引き続き職員研修会（4/3）	【承認】 【承認】
--	--	--	--------------

2. 評議員会の開催状況

回数	開催月日 開催場所	議事及び協議事項
第 1 回	令和 4 年 6 月 24 日 高原環境改善 センター 評議員 20 名出席	（議案事項） 議案第 1 号 令和 3 年度事業報告について 【承認】 議案第 2 号 令和 3 年度計算書類について 【承認】 議案第 3 号 令和 3 年度財産目録について 【承認】 議案第 4 号 社会福祉充実残高について 【承認】 議案第 5 号 令和 4 年度社会福祉事業補正予算（第 1 号）について 【承認】 議案第 6 号 令和 4 年度公益事業補正予算（第 1 号）について 【承認】 （報告事項） 1. 定款変更について 2. 新型コロナウイルスについて
第 2 回	令和 5 年 3 月 30 日 高原環境改善 センター 評議員 21 名出席	（議案事項） 議案第 7 号 令和 4 年度社会福祉事業補正予算（第 2 号）について 【承認】 議案第 8 号 組織、職員の職の設置及び所掌事務に関する規程の一部改正 について 【承認】 議案第 9 号 令和 5 年度事業計画（案）について 【承認】 議案第 10 号 令和 5 年度予算（案）について 【承認】 （報告事項） 【規程の一部改正について】 1. インターネットバンキング規程の制定について（12 月） 2. 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について（12 月） 【事業・活動に関することについて】 1. 新型コロナウイルスについて 【職員に関することについて】 別紙

2. 事業経営管理(マネジメント)体制の強化

1. 理事・監事研修の実施

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年3月24日 川本町	邑智郡3町村社会福祉協議会役員研修会 「地域共生社会」実現に向けた社会福祉協議会の役割 島根県社会福祉協議会 総務企画部 企画監 城代 高志 氏 理事8名 監事1名 職員4名参加

2. 監事監査の実施

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和4年5月12日 社会福祉協議会 会議室	令和3年度事業監査 〔令和3年4月1日～令和4年3月31日〕 ○令和3年度事業報告書 ○計算書類及び附属明細書 ○財産目録 ○監事監査チェックリスト（業務管理編）（会計管理編）
第2回	令和4年12月2日 社会福祉協議会 会議室	令和4年度事業監査 〔令和4年4月1日～令和4年9月30日〕 ○令和4年度事業の進捗状況 ○介護保険事業の収支状況 ○資産残高の状況
第3回	令和5年3月15日 社会福祉協議会 会議室	令和4年度内部経理監査 内部経理監査員2名による監査

3. 評議員選任・解任委員会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和4年6月9日 社会福祉協議会 会議室	○評議員の選任について ○評議員2名を選任（口羽邦子・林賢司）

4. 介護保険事業部会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和4年9月27日 社会福祉協議会 会議室	○介護保険事業の現状と今後について ○役員6名 職員4名参加
第2回	令和5年2月21日 社会福祉協議会 会議室	○介護保険事業の状況と今後の運営について

5. 総務部会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和4年11月30日 社会福祉協議会 会議室	○規程（インターネットバンキング：育児介護に関する規程） ○東部センター、診察室改修について ○令和3年度監査員指摘事項

6. 地域福祉部会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年2月10日 社会福祉協議会 会議室	○部会長・副部会長の選任について 部会長 森田修委員 副部会長 服部裕子委員 ○地域福祉課事業の見直しについて ・楽々教室事業・配食サービス事業・85歳長寿祝い事業 ・邑南町チャリティ神楽大会・共同募金啓発運動について

7. 表彰審査委員会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和4年10月21日 社会福祉協議会 会議室	○令和4年度表彰及び感謝状の贈呈候補者について

8. 三役会

回数	開催月日・開催場所	内 容
第1回	令和5年1月26日 社会福祉協議会 会議室	○本会組織について ○介護保険事業について ○奨学資金のあり方について

3. 定款・諸規程の整備

1. 定款変更(鳥根県の示すモデルを参考に定款変更)

令和4年5月16日鳥根県認可

旧定款第5章顧問削除 第11章公益を目的とする事業(6)祭壇事業廃止

インターネットバンキング規程の制定

育児・介護休業等に関する規程の一部改正

組織、職員の職の設置及び所掌事務に関する規程の一部改正

4. 課長会議の開催

毎月1回開催	協議内容
令和4年4月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 労務管理について 2. 広報おおなん社協について 3. 管理者会議について 4. 休日・夜間の携帯電話について 5. 事務分掌表について 6. 災害時緊急連絡網について 7. 監査会・理事会・評議員会について 8. その他
5月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 居宅介護24時間対応について 2. 監査会について 3. 第1回理事会について 4. 定時評議員会について 5. 新人職員・異動職員面接について 6. その他
6月	<ol style="list-style-type: none"> 1. チャリティ神楽大会について 2. 社協所有者貸出について 3. サマーボランティアスクールについて 4. 一人暮らし高齢者の会 総会について 5. 新型コロナウイルス在宅支援感染予防物品について 6. 定時評議員会について 7. 部会・委員会について 8. 大規模改修について 9. 今年度表彰者について 10. その他
7月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域部会について 2. 地域福祉活動(楽々教室・配食サービス・チャリティ神楽大会)について 3. 管理社会について 4. 移送サービスについて 5. 部会について 6. 矢上高校インターンシップについて 7. 中堅職員研修について 8. その他
8月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉活動(サマーボランティア体験・チャリティ神楽大会)について 2. 敬老の日配分事業について 3. 大学生実習受け入れについて 4. 介護保険事業部会について

	<ul style="list-style-type: none"> 5. 総務（資格手当・定年延長・奨学資金）について 6. 矢上高校インターンシップについて 7. その他
9月	<ul style="list-style-type: none"> 1. おおなんバス実証実験について 2. チャリティ神楽大会について 3. 令和4年度大田圏域健康づくり活動表彰について 4. 資格取得の助成と手当の支出について 5. インターネットバンキング利用規程について 6. 理事会・部会・委員会の開催について 7. 祭壇処分について 8. その他
10月	<ul style="list-style-type: none"> 1. 共同募金活動について 2. 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 in 邑南町 3. ボランティアの日について 4. あいサポートフォローアップ研修について 5. リゾート祭りについて 6. 令和4年総合社会福祉大会 7. 令和4年度町社協会長表彰 8. 令和5年度予算打合せ
11月	<ul style="list-style-type: none"> 1. 共同募金活動について 2. 通院付き添いサービスについて 3. ボランティアの日について 4. おせち料理配食事業について 5. 支え合いボランティア研修会について 6. 令和5年度組織体制について 7. 令和4年総合社会福祉大会 8. 総務部会 9. 中間監査 10. 町内法人地域貢献会議 11. 第3回理事会（12/21）終了後懇親会 12. 12/17 チャリティプロレス
12月	<ul style="list-style-type: none"> 1. おせち料理配食サービスについて 2. 除雪ボランティアについて 3. 令和5年度奨学生募集について（奨学資金） 4. 東部センター危険物取扱者試験について 5. 第3回理事会 6. 12/28 仕事納め 7. 1/4 仕事始め 8. 12/17 チャリティプロレス
1月	<ul style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度配食サービスについて 2. シルバー人材センターコーディネーターの雇用について 3. 組織のあり方について 4. 1/26 三役会について
2月	<ul style="list-style-type: none"> 1. 1/26 三役会について 2. 令和5年度事業計画について（2月中に事務局長提出）
3月	<ul style="list-style-type: none"> 1. 通院付き添いサービス事業（案） 2. 広報配布について 3. 3/22 理事会について 4. 退職辞令の交付について（3/31） 5. 辞令の交付について（4/3） 6. 職員異動について（案）

5. 社会福祉法人・医療法人地域貢献連絡協議会の開催

【開催状況】 令和4年 6月 6日

【協議内容】 1) 令和3年度活動報告について
2) 令和4年度活動計画について
3) その他

【開催状況】 令和4年 11月 30日

【協議内容】 1) 令和4年度活動について
2) 社会福祉法人の今後について
3) 福祉避難所について
4) その他

【協議会メンバー】

医療法人 徳祐会
社会福祉法人石見さくら会
社会福祉法人邑智福祉振興会
社会福祉法人瑞穂福祉会
社会福祉法人おおなん福祉会
社会福祉法人島根県社会福祉事業団「緑風園」
社会福祉法人邑南町社会福祉協議会
【会長】 藤原 啓二 氏 [緑風園園長]
【副会長】 三上佐代子 氏 [徳祐会専務]
【監事】 川久保剛史 氏 [瑞穂福祉会事務局長]

6. 自主財源の造成と適正運用

【内 容】 「福祉基金」の国債運用
定期貯金50,000千円〔2年〕[令和6年6月]
決済口座50,000千円
パソコン更新積立金（JAしまね定期積立）[1年更新]
金額 2,700,000円
車輜更新積立金（JAしまね定期積立）[1年更新]
金額 6,100,000円
建物修繕積立金（JAしまね定期積立）[5年更新]
金額 2,800,000円
財政調整積立金（JAしまね定期積立）[1年更新]
金額 7,145,492円

7. 新盆お供え配布事業

【内 容】 令和3年7月1日～令和4年6月30日に亡くなられた方のご家族へ（ローソク
セット配布） 187件配布
羽須美地域 34件 瑞穂地域 53件 石見地域 73件 郵送27件
配布方法 会長、副会長、事務局長により配布

8. 社協会費

【会費総額】 2,694,600円
【内 訳】
一般会費 2,569,600円(3,212世帯)
特別会費 125,000円
(7社会福祉法人、11地区社協、町老連)
賛助会費 0円

9. 邑南町老人クラブ連合会事務局補佐

令和3年度監査会 令和4年 4月 7日(木)
第18回総会開催 令和4年 4月20日(水) 高原公民館
令和3年度事業・決算報告・令和4年度事業・予算報告
理事会の開催 令和4年(4/23 6/8 8/24 10/17 12/7) 令和5年(3/23)

三役会の開催 令和4年(4/17 6/8 8/18 9/16)令和5年(3/17)
 会長会 令和4年(9/22) (木) 高原公民館
 広報「いずみ」第10号発行 令和4年 6月17日
 第11号発行 令和5年 2月 1日
 第43回邑南町GG大会 令和4年 6月23日(木) 中野グラウンド(119名参加)
 90歳以上8名参加
 第44回邑南町GG大会 令和4年 9月17日(土) 羽須美中グラウンド(124名参加)
 90歳以上6名参加
 第45回邑南町GG大会 令和4年10月26日(水) 瑞穂球場(120名参加)
 90歳以上6名参加
 第5回邑智郡GG大会 令和4年10月27日(木) 美郷町(24名参加)
 島根県老連GG大会 令和4年11月28日(月) 出雲ドーム(23名参加)

10. 出張研修

4月	浜田市	新任職員マナー研修	9月	松江市	しまね県民福祉大会
5月	川本町	安全運転管理者講習会	10月	浜田市	中堅職員スキルアップ研修
	浜田市	キャリアパス研修		松江市	ハラスメント予防研修
6月	出雲市	訪問看護ステーション協会総会・研修会	11月	浜田市	介護支援専門員更新研修
		シルバー人材センター事務局長会議 (ズーム研修)	12月	浜田市	中国JRバス・邑南町社協・あいサポ「虹の会」合同研修
	神奈川	社会福祉主事スクーリング	1月	松江市	令和4年度災害VC運営マネジメ ント研修
	浜田市	介護支援専門員研修(浜田)		松江市	オールしまね社協ブランディング推 進会議
7月		全国共同募金ミーティング(ズーム研修)	2月	飯南町	権利擁護研修会
	松江市	県社協会長会(松江)		大田市	第2回障害者就業・生活支援セン ター事業連絡会議
		人権同和研修(口羽公・日和公)		雲南市	あいサポーターメッセンジャー研修
8月	浜田市	キャリアパス初任者研修		川本町	食品衛生責任者養成講習会
		ハラスメント研修(ズーム研修)	3月	出雲市	生活困窮者自立支援セミナーヤング ケアラー研修
		企業トップクラス公正人権研修(川本)		出雲市	ボランティアコーディネーション研修
		県社協中堅職員研修(松江)			

11. 指定管理施設の維持管理

- ・ 邑南町瑞穂東デイサービスセンター
- ・ 邑南町高齢者生きがい活動センター
- ・ 邑南町高齢者生活福祉センター「安心センター」

12. 新型コロナウイルス感染症自宅療養者等支援事業(町委託)

新型コロナウイルス感染症による自宅療養者等が自宅待機を余儀なくされる間の生活を維持、継続できるよう、必要な買い物代行等の支援を行った。

	買い物	薬剤	ゴミ	合計		買い物	薬剤	ゴミ	合計
4月	0件	0件	0件	0件	10月	2件	0件	0件	2件
5月	1件	1件	0件	2件	11月	0件	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件	0件	12月	2件	1件	0件	3件
7月	3件	1件	0件	4件	1月	0件	0件	0件	0件
8月	5件	4件	0件	9件	2月	0件	2件	0件	2件
9月	1件	0件	0件	1件	3月	0件	0件	0件	0件
					合計	14件	9件	0件	23件

13. 新型コロナウイルス職員感染状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
【総務課】													
法人内								1					1
職員（濃厚接触 疑いを含む）								1	1				2
職員の家族						1							1
特別休暇取得						1		14	5				20
【地域福祉課】													
サービス事業所 会議等													
利用者、家族		1		1	4		1	1		1	1	1	11
法人内								5	2				7
職員（濃厚接触 疑いを含む）								1					1
職員の家族													
特別休暇取得		1		7	7		2	22	3	1	1	3	47
【居宅介護課】													
サービス事業所	3			3	2	1		4	2	3	3		21
会議等							2						2
利用者、家族	1			1	1	3	2						8
法人内								2	2				4
職員（濃厚接触 疑いを含む）				1	4	1	3	7					16
職員の家族				1	3	2	3	2		1			12
特別休暇取得				10	15	6	15	13		4			63
【西部介護】													
サービス事業所		27								22			49
会議等													
利用者、家族											2		2
法人内													
職員（濃厚接触 疑いを含む）				7			11	10	10				38
職員の家族	1	6		5	6	12	2	19		14	8		73
特別休暇取得	1	33		12	6	12	13	29	10	36	10		162
【東部介護】													
サービス事業所 会議等													
利用者、家族													
法人内													
職員（濃厚接触 疑いを含む）	1			4		1		2	5	3			16
職員の家族	1	1		4		1	1	3	6	2			19
特別休暇取得		2		9		2	3	5	33	15			69
合計	7	35		27	20	22	25	58	28	46	14	1	283
特別休暇	1	36		38	28	21	33	111	51	56	11	3	361

【地域福祉課】

I. 児童、高齢者・障がい者（児）などの属性や性別年齢を問わず誰もが地域で安心していきいきと生活できる地域共生社会の実現を推進する。

(1). 地域共生社会事業の推進

1) 協議体の運営及び生活支援コーディネーター業務

※町委託事業

- ・ 邑南町地域包括ケアシステム推進協議会の開催
- 生活支援コーディネーター連絡会の開催

【開催日時】 令和4年8月18日（木）9：30～12：00 役場本庁ミーティングルーム

【内 容】 1. 前回の振り返り

2. 各地域の今年度の活動について

- ・ 寄り合い処、出羽・井原地域へ
- ・ ニーズの具体的な内容について
- ・ アンケートの調査について → 各地域の困りごと

2層協議体の具体的な課題についてまとめるようにコーディネートしていく。

令和4年度邑南町地域包括ケアシステム推進協議会

【開催日時】 令和5年3月30日（木）14：00～16：00 田所公民館

【内 容】 1. 邑南町地域包括ケアシステム推進協議会第1層協議体について

- 令和4年度生活支援を中心とした第2層協議体の取組紹介
- 布施地区支え合い会議（事例紹介）
- 井原地区支え合い会議（事例紹介）

2. テーマ「交通問題」

- 県内の地域住民主体による移動支援事例紹介について
- 邑南町タクシー券助成事業について

2) 地域包括ケアシステムにおける第2層協議体の推進

4年目阿須那、口羽、銭宝、井原、日和。3年目の市木、田所、高原、日貫。2年目の矢上地域が支え合い会議の申請をし、実施している。今年度もコロナ禍で会合等開催出来ない状況の中、実証実践を取り入れて地域の課題の解決に取り組まれている状況である。中野地域は、地区戦のこ丸くんにて課題に向けての取組・検討を行うよう計画している。

3) 「我がごと・丸ごと」の地域づくり

- ・ ACP（人生会議）プラン・あんしんサポート事業

あんしんサポート事業について、一人暮らし高齢者の会「むくのき会総会」3地域毎にて説明をした。

4) 「助けあい」「支え合い」による住民主体の地域づくり

- ・ 優友サポーター派遣活動

【派遣回数】（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	7	8	9	7	7	6	8	7	8	9	9	12	97
支援者	7	8	9	7	7	6	7	6	8	9	9	12	95
回数	17	17	28	23	17	14	21	19	15	14	17	25	227

【派遣回数】（令和3年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	8	8	9	9	9	8	9	8	7	6	6	6	93
支援者	7	7	9	9	7	7	9	7	7	6	6	6	87
回数	16	23	22	19	16	18	17	27	20	13	15	14	220

【活動内容】

話し相手 ゴミ出し 日用品・食品の買い物 掃除ほか

【活動状況】

週1回1時間の訪問活動 500円／1回（利用料）

優友サポーター配分金 800円／1回

令和5年2月22（水）に交流・意見交換会を実施。

5) 通所型介護予防事業（楽々教室）

※町委託事業

来所頻度 1回/月

【開催回数】 118回

9月より日と日貫のグループを統合、1月より田所と鱒淵グループを統合。

〔総合型 楽々教室〕

〔利用者数〕 令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	9	10	10	9	7	7	16	7	5	7	7	7	101
瑞穂	17	24	15	17	15	16	16	20	14	11	11	12	188
石見	29	38	28	25	24	27	35	29	25	19	21	26	326
計	55	72	53	51	46	50	67	56	44	37	39	45	615

〔利用者数〕 令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	8	5	5	8	7	6	13	8	11	6	0	8	85
瑞穂	32	43	37	27	26	24	22	24	20	10	14	18	297
石見	44	48	45	36	36	42	48	37	31	6	31	37	441
計	84	96	87	71	69	72	83	69	62	22	45	63	823

6) 訪問型介護予防事業（訪問給食サービス）

※町委託事業

栄養バランスのとれた食事の提供に併せ、安否確認を実施した。

令和3年度7月より昼食の配達を開始

〔配食数〕 令和4年度(夜)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	206	188	224	248	274	262	243	232	198	196	202	225	2698
瑞穂	264	287	268	199	215	232	236	251	230	221	237	270	2910
石見	311	278	267	232	275	262	253	262	232	229	224	253	3078
計	781	753	759	679	764	756	732	745	660	646	663	748	8686

〔配食数〕 令和3年度(夜)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	302	314	288	314	292	289	267	240	218	212	214	258	3208
瑞穂	280	284	322	366	313	285	273	253	226	222	229	253	3306
石見	342	318	338	354	311	322	338	339	349	339	369	417	4136
計	924	916	948	1034	916	896	878	832	793	773	812	928	10650

〔配食数〕 令和4年度(昼)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂	32	27	43	53	47	44	47	54	54	58	73	83	615
石見	43	31	38	32	36	32	41	56	53	58	62	64	546
計	75	58	81	85	83	76	88	110	107	116	135	147	1161

〔配食数〕 令和3年度(昼)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
羽須美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
瑞穂	0	0	0	24	35	33	31	28	30	24	24	28	257
石見	0	0	0	6	15	57	47	55	37	41	44	57	359
計	0	0	0	30	50	90	78	83	67	65	68	85	616

7) 地域共生社会実現に向けての分析及びニーズ調査

・一人暮らし高齢者の生きがい活動支援

「むくのき会」組織〔羽須美ほたる会・瑞穂いなほ会・石見さつき会〕の事務局として様々な交流を中心とした活動を支援・促進した。

【邑南町全域】

開催月日	内容	内 容
令和4年 4月19日	会長・副会長会	1. 令和3年度事業報告 2. 令和4年度年事業計画について 3. その他
9月20日	会長・副会長会	1. 交流会、忘年会について 2. おせち料理配食事業について 3. その他

【羽須美ほたる会】

開催月日	事業名	内 容
令和4年 6月16日	「ほたる会」総会 *参加者=31名	会場=口羽公民館 「ACP、あんしんサポート事業について」 (邑南町社協 齊藤課長、渡邊課長) 「おいしく食べて、ずっと笑顔」 (瑞穂福祉会 さつきの園 片桐由紀子氏)
令和4年 11月30日	「ほたる会」忘年会 *参加者=27名	会場=口羽公民館 「フィンランド講習会」(生涯学習課 仁柿氏、サカリ氏) ・モルック体験

【瑞穂いなほ会】

開催月日	事業名	内 容
令和4年 6月21日	「いなほ会」総会 *参加者=36名	会場=田所公民館 「ACP、あんしんサポート事業について」 (邑南町社協 齊藤課長) 「病気になった時、退院に向けて邑智病院が 支援していること」 (公立邑智病院 診療看護師 日高美晴氏)
令和4年 12月7日	「いなほ会」忘年会 *参加者=46名	会場=出羽公民館 「特殊詐欺被害抑止モデル地区」について (出羽駐在所 石飛茂明氏) 「上田康彦&万里子歌謡ショー」 (上田康彦様、万里子様)

【石見さつき会】

開催月日	事業名	内 容
令和4年 6月10日	「さつき会」総会 *参加者=39名	会場=矢上交流センター 「ACP、あんしんサポート事業について」 (邑南町社協 齊藤課長、渡邊課長) 「骨粗しょう症について～防ごう！いつの間にか骨折～ (公立邑智病院骨粗しょう症マネージャー堂上百合香氏)
令和4年 10月14日	「さつき会」交流会 *参加者=36名	会場=中野公民館 「フィンランド講習会」(生涯学習課 仁柿氏、サカリ氏) ・モルック体験
令和4年 12月2日	「さつき会」忘年会 *参加者=50名	会場=矢上交流センター 「交通安全・振り込め詐欺」について (井原駐在所 永田昭博氏、日貫駐在 田中大氏 出羽駐在所 石飛茂明氏) ・わくわくビンゴ大会

8) 「敬老の日」配分事業 (85歳長寿のお祝い・昭和12年生まれ対象)

敬老の日に11地区社会福祉協議会の協力を得て、共同募金配分金を財源に配分事業を実施した。各地区社協や自治会、各施設のご協力を得て贈呈させていただきました。

【配分内容】 額縁入りお祝い状 (写真付き) 風呂敷 (姓入り)

【地域内訳】 126名 羽須美31名、瑞穂39名、石見56名

9) 難聴対策チャイム設置事業

ひとり暮らし高齢者世帯で難聴等による訪問者対応の困難等を解消することを目的として、地域福祉推進事業の収支差益を財源として、「光と音で知らせる」チャイムの無料設置を実施した。

(令和4年度)

地域	羽須美	瑞穂	石見
設置数	0	1	2

(令和3年度)

地域	羽須美	瑞穂	石見
設置数	2	3	0

10) 生きがいと健康づくり推進

羽須美・石見地域の高齢者の生きがいと健康づくりを目的として、それぞれの活動拠点において当該高齢者グループの自主運営による活動が展開された。

【活動拠点】

〔木エクラブ〕 若返り館〔石見〕

〔陶芸クラブ〕 ねんりん工房〔羽須美 (阿須那)〕

〔ふサ〕 → ふれあいサロン (若返り館)

【利用状況】 令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
木若	21	16	12	3	3	12	11	15	6	1	5	18	123
陶ね	12	6	10	5	11	13	7	9	2	4	11	5	95
ふサ	20	19	10	41	30	6	18	3	12	17	3	11	190

【利用状況】 令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
木若	15	20	25	16	10	12	13	16	19	14	9	19	188
陶ね	14	8	15	9	3	11	9	12	15	6	15	16	133
ふサ	28	24	20	31	26	46	36	25	16	0	0	15	267

* 〔木若〕 → 木エクラブ (若返り館) 〔陶ね〕 → 陶芸クラブ (ねんりん工房) (阿須那)

〔ふサ〕 → ふれあいサロン (若返り館)

(2). シルバー人材センター事業

1) 会員推移

	3年度末	5月	7月	9月	11月	1月	4年度末	増減
男性	71	71	70	68	69	66	61	-10
女性	12	10	10	9	8	8	7	-5
計	83	81	80	77	77	74	68	-15
	2年度末	5月	7月	9月	11月	1月	3月末	増減
男性	71	76	73	75	74	74	71	0
女性	10	12	12	10	12	12	12	2
計	81	88	85	85	86	86	83	2

2) 会員内訳 羽須美26名 瑞穂15名 石見27名

3) 受託実績

	令和4年度同期実績			令和3年度同期実績		比較増減	
	請負件数 (件)	請負金額 (千円)	平均金額 (千円/件)	請負件数 (件)	請負金額 (千円)	受託件数 (件)	受託金額 (千円)
公共事業	13	660	51	15	885	-2	-225
公益団体・民間企業	44	580	13	46	619	-2	-39
一般家庭	684	9,850	14	638	9,672	46	178
合計	741	11,090	15	699	11,176	42	-86

4) 請負内容

(単位：千円)

請負作業	件数	請負金額	具体的内容
大工仕事などの工事	4件	109	柵作り、雨樋等の修理
障子張り	4件	57	障子の張替
剪定作業	36件	972	庭木、生垣の剪定
筆耕	8件	94	敬老の日賞状書き
配達	7件	63	社協広報の配達
除草作業	539件	8,758	自宅周辺、墓地周辺、休耕田等
土木作業	0件	0	自宅周辺の残土処理等
農作業	5件	53	除草シート張り、電柵設置等
その他の屋外作業	47件	508	水路掃除、家の周りの片付け
雪かき	20件	89	除雪作業等
蜂駆除	49件	279	蜂の巣の駆除
墓掃除	18件	75	墓石洗い、拭き上げ、花立、墓地整地
屋内清掃作業	1件	17	部屋の片付け、清掃
家事援助	3件	16	家の風通し、部屋、荷物の片付け
合計	741件	11,090	

5) 地域コーディネーター会議の開催

【開催日時】令和4年4月11日（月）午後1時30分～

【開催場所】邑南町社会福祉協議会会議室

【開催内容】1. 令和3年度事業報告

2. 安全・適正就業について

・草刈り機、飛散防止カバーをとって作業される人がいる。

3. コーディネーター業務について

4. 業務上での問題・課題

・就業報告書の書式がわかりやすいものに変更してもらえないか

6) 就労的活動支援コーディネーター

制度の狭間で対応できない問題・課題についてシルバー人材センターでマッチングを行い、希望に合った活動をコーディネートすることにより、会員の社会参加を促進した。

(3). 当事者組織・団体等への個別支援

1) 障がい児（者）当事者及び家族会支援

知的障がい児（者）の会「邑南町手をつなぐ育成会」の支援

邑南町内の障がい児（者）及び親に対して、会員同士のつながりや余暇活動など交流の場を提案などしながら事務局を運営。

今年度は新型コロナウイルス感染防止に気を付けて総会、交流会を同日に実施した。

開催日時	内容	開催場所	参加者
令和4年4月26日（火）	監査会・役員会	高原公民館	役員、職員2名
令和4年6月4日（土）	総会・交流会	邑南町社協	育成会会員、コミュニティ・ボーズ、職員9名

Ⅱ. 地域福祉の一層の充実を図るため地区社会福祉協議会や自治会等の活動への支援及び強化を図る。

(1). 地区社会福祉協議会活動の促進・支援

1) 地区社会福祉協議会会長会の開催

町社協から地区社協に要請している事業・活動等についての説明、並びに事業の連絡・調整等々を目的に地区社協会長会を開催した。

開催月日	内 容
令和4年 6月17日	1, 令和4年度地域包括ケアシステム（第2層協議体）について 2, 地区社会福祉協議会活動等の意見交換について 3, その他
令和4年9月28日	1, 地域包括ケアシステム（第2層協議体）について 2, 小地域福祉活動推進事業助成について 3, 赤い羽根共同募金運動について 4, 災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練について 5, 邑南町ボランティアの日の活動について 6, 邑南町総合社会福祉大会について 7, 地区社会福祉協議会活動等の意見交換について 8, その他
令和5年3月23日	1, 令和5年度町社協事業計画について 2, 令和5年度地区社協助成金について 3, 小地域福祉活動推進事業助成について 4, 令和5年度支え合い会議について 5, 地区社協総会について

2) 地域福祉推進ネットワーク活動

地域福祉の一層の充実を図るため地区社会福祉協議会や自治会等の活動への支援及び強化を図る。

地区社会福祉協議会名	人口	活動費助成額		
		均等〔40%〕	人口〔60%〕	合計
阿須那地区社会福祉協議会	635	109,091	112,389	221,480
口羽地区社会福祉協議会	663	109,091	117,345	226,436
市木地区社会福祉協議会	392	109,091	69,381	178,472
田所地区社会福祉協議会	1,736	109,091	307,257	416,348
出羽地区社会福祉協議会	811	109,091	143,540	252,631
高原・布施地区社会福祉協議会	972	109,091	172,035	281,126
井原地区社会福祉協議会	604	109,091	106,903	215,994
中野地区社会福祉協議会	1,433	109,091	253,628	362,719
矢上地区社会福祉協議会	2,128	109,090	376,637	485,727
日貫地区社会福祉協議会	431	109,091	76,283	185,374
日和地区社会福祉協議会	365	109,091	64,602	173,693
計	10,170	1,200,000	1,800,000	3,000,000

3) 「いきいきサロン」の実施状況

自治会エリアを対象として小地域における交流に照準を置いた介護予防を目的とする地域福祉活動としての「いきいきサロン」活動の促進・支援を行った。

【実施状況300円助成】

地区社会福祉協議会	開催地区エリア	開催回数	参加人数
口羽地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出2件〕	上口羽自治会	0回	0
	上田自治会	0回	0
	口羽町自治会	2回	77
	下口羽自治会	4回	95
阿須那地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出0件〕	阿須那自治会	1回	18
	雪田区自治会	2回	52

	宇都井区自治会	1回	19
	戸河内振興会	0回	0
市木地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出0件〕	市木自治会	0回	0
田所地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出2件〕	上田所自治会	0回	0
	四つ葉自治会	1回	15
	亀谷自治会	1回	17
	みずほ自治会	9回	109
	西鱒淵自治会	1回	47
出羽地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出0件〕	三日市ブロック福祉委員会	7回	239
	出羽ブロック福祉委員会	8回	279
	久喜ブロック福祉委員会	0回	0
高原・布施地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出1件〕	和田原自治会	6回	192
	高海自治会	1回	11
	銭宝自治会	0回	0
井原地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出0件〕	西区自治会	2回	30
	南区自治会	0回	0
	東区自治会	0回	0
	断魚自治会	0回	0
中野地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出1件〕 〔ハイエース貸出1件〕	中央自治会	2回	23
	西区自治会	1回	19
	茅場自治会	1回	27
	北区自治会	2回	36
矢上地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出0件〕	御謝山自治会	0回	0
	いわみ中央自治会	0回	0
	原山自治会	1回	26
	加茂山自治会	4回	132
	大沢会	0回	0
日和地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出1件〕	桜井自治会	0回	0
	東自治会	0回	0
	中央自治会	0回	0
日貴地区社会福祉協議会 〔マイクロバス貸出2件〕	吉原丸子自治会	0回	0
	中央自治会	10回	102
	山の内自治会	0回	0
	福原自治会	2回	35
	春日自治会	5回	26
合 計		74回	1,626人

【実施状況100円助成】

地区社会福祉協議会	開催地区エリア	開催回数	参加人数
口羽地区社会福祉協議会	上田自治会	9回	65
	下口羽町自治会	6回	112
	口羽町自治会	18回	236
阿須那地区社会福祉協議会	阿須那自治会	10回	225
	戸河内自治会	1回	32
田所地区社会福祉協議会	みずほ自治会	21回	234
	西鱒淵自治会	2回	47
出羽地区社会福祉協議会	出羽自治会	1回	10
高原地区社会福祉協議会	和田原自治会	1回	60

井原地区社会福祉協議会	西区自治会	1回	28
中野地区社会福祉協議会	中央自治会	8回	69
	北区自治会	1回	21
矢上地区社会福祉協議会	いわみ中央自治会	3回	64
	大沢自治会	1回	19
合 計		83回	1,222人

(2) 小地域福祉活動（おおなん流）推進事業

地域（地区社協、自治会等）における小地域福祉活動の推進を図り、「みんなで支えあい 笑顔で安心して暮らせる 地域づくり」を目指すことを目的として助成を行った。

1. 和田原自治会 170,000円 地域住民と子どもの集い
2. 市木地区社会福祉協議会 100,000円 ひとり暮らし高齢者等の会食・交流会

※1 団体あたり 20 万円を上限として助成

Ⅲ. ボランティアセンターの基盤強化を図り、ボランティア活動を中心に福祉活動に参加する住民への支援と強化を図る。

(1) ボランティアセンター事業

1) 「邑南町ボランティアの日」の環境美化活動

「邑南町地域福祉推進月間」に合わせ 11 月 12 日（土）に「邑南町ボランティアの日」として環境美化活動を中心とした活動を実施しており 457 名の参加とご協力をいただいた。

実施団体	実施内容	参加人数
阿須那地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	88人
口羽地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	60人
市木地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	35人
田所・出羽地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	30人
高原・布施地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	16人
田所地区社会福祉協議会	環境美化活動〔郷土館草刈り作業〕	19人
井原地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	22人
中野地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	49人
矢上地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	101人
日和地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	16人
日貫地区社会福祉協議会	環境美化活動〔ゴミ拾い活動〕	21人

2) 災害ボランティアセンターの体制整備

邑南町内において災害が発生した際に、速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者本位の支援活動が行えるよう立ち上げ訓練を実施した。

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 in 邑南町

令和 4 年 11 月 9 日（水）出羽公民館 参加者：67 名

3) ボランティア活動資金の助成

ボランティア活動を通じて、青少年健全育成や地域交流活動、高齢者・障がい者、子育てサポート活動等を積極的に行う団体を支援することを目的として、13 団体に総額 400,000 円の助成を行った。

【助成団体】

〔高齢者・障がい者支援ボランティア団体〕

「スムーズ市木」「ゆびの輪会」「瑞穂かけはし」「虹の会」

〔子育て支援ボランティア団体〕

「口羽地区読み聞かせボランティア」「日貫読み語りのグループ」

「そらいろのたね」「石見中学校読み語りの会」

〔地域支援ボランティア団体〕

「中野明日の会」「花はなクラブ」「花和会」「くにびき学園 OB 邑智会」

「はすみまもるん隊」

(2) ボランティアの育成及び講座の開催

1) 登録ボランティアの状況

○ボランティア活動団体 ○個人ボランティア
【登録団体数】 29団体 (新規1団体) 【登録会員数】 19人
【登録会員数】 431人

○島根いきいき広場登録者への意向確認実施

登録者数55名→27名

○ボランティア団体代表者連絡協議会

令和4年7月6日(水) 高原公民館ホール

参加団体: 14団体

2) ボランティアセンター連絡・調整(相談・紹介・支援ほか)業務等

【活動支援】

1, ボランティア活動保険加入者数 453人
2, ボランティア行事保険加入者数 7,007人
3, 福祉サービス総合補償加入者数 118人
4, 送迎サービス保証加入者数 100人
5, 事故報告件数 0件

【活動支援】

[個人ボランティア]

配食サービスに月1回絵手紙を添える活動(1回約80通)

[のぎくの会]

耳の聞こえに不安を持つ方の社会参加と、個別支援を目的に月1回開催。交流会、情報交換の場として役割を担っている。

要約筆記サークル「瑞穂かけはし」

地域支援ボランティア「高原布施ともしび会」

【活動派遣】

島根県立石見養護学校(生徒)社会参加活動

延回数 1回

内容 除草活動ほか

場所 中野地区 絆ロード周辺

目的 活動を通じ地域に貢献する気持ちの醸成、啓発を目的に実施

3) 福祉車両貸出

町内在住、高齢者及び障がいのある方に対し社会参加を促進し、在宅生活の質の向上を目指すため福祉車両の貸し出しを行った。

【貸出内容】 通院・買い物ほか 33件利用

4) 広報「おおなん社協」の発刊

広報「おおなん社協」を隔月(6回)発刊し、福祉意識の啓発並びに説明責任を果たすべく社協情報・福祉情報等の提供に努めた。ホームページでも同様の内容を提示した。

発刊月	発刊No.
5月	No.186
7月	No.187
9月	No.188
11月	No.189
1月	No.190
3月	No.191

IV. 誰もが安心して子育てができる環境を整備するとともに、小地域活動の担い手や専門的人材など後進の育成のため、地域住民や子供たちが福祉事業・活動を通じて、身近に福祉を体験できる福祉教育を推進する。

(1). 児童・青少年福祉の推進

1) 学童生徒の福祉教育推進

次代を担う子どもたちが福祉事業・活動を通じ福祉意識の啓発、ボランティア活動に関する理解など教育現場と一体となって推進した。

【開催状況】

実施日	実施団体	対象者数	内容
令和4年			
6月13日	矢上高校3年3組	9名	”ふくし”とは導入講座
6月14日	矢上高校3年1組	11名	”ふくし”とは導入講座
6月16日	瑞穂小学校3年生	18名	『ふくし』ってなあに？
6月20日	矢上高校3年3組	9名	あいサポート研修
6月22日	石見東小学校3年生	10名	高齢者疑似体験
6月23日	瑞穂小学校3年生	18名	高齢者疑似体験
6月23日	矢上高校3年1組	11名	あいサポート研修
9月1日	羽須美中学校1年生	7名	高齢者疑似体験、車椅子体験
9月8日	矢上高校3年1組	11名	認知症サポーター研修（1回目）
9月12日	矢上高校3年3組	9名	認知症サポーター研修
9月13日	矢上高校3年1組	11名	認知症サポーター研修（2回目）
9月14日	瑞穂中学校1年生	20名	『ふくし』とは？ 高齢者疑似体験、車椅子体験、アイマスク体験
9月16日	瑞穂中学校1年生	24名	視覚障害について
9月25日	石見東小学校3年生	12名	「ふくし」とは？ 高齢者疑似体験
9月26日	矢上高校3年3組	9名	老人クラブ交流会 開催準備
10月6日	矢上高校3年1組	11名	いのちの大切さ
10月11日	矢上高校3年1組	11名	子育てサロン交流会準備
10月12日	矢上高校3年3組	9名	老人クラブ交流会 グラウンドゴルフ
10月13日	矢上高校3年1組	11名	いのち輝く沐浴体験学習
10月20日	矢上高校3年1組	11名	子育てサロン交流会準備
10月24日	矢上高校3年3組	9名	いのち輝く沐浴体験学習
10月25日	矢上高校3年1組	11名	子育てサロン交流会
10月27日	矢上高校3年1組	11名	いのち輝く沐浴体験学習①
11月7日	矢上高校3年3組	9名	子育てサロン交流会準備
11月8日	矢上高校3年1組	11名	老人クラブ交流会準備
11月25日	瑞穂小学校3年生	18名	障がいについて知ろう
12月5日	矢上高校3年3組	9名	老人クラブ交流会（グラウンドゴルフ）
12月15日	矢上高校3年1組	11名	老人クラブ交流会（脳トレなど）
12月22日	瑞穂小学校3年生	16名	車椅子体験学習
令和5年			
1月31日	石見中学校2年1組	19名	高齢者疑似体験、車椅子体験、アイマスク体験
2月1日	石見中学校2年2組	18名	高齢者疑似体験、車椅子体験、アイマスク体験
2月9日	石見東小学校3年生	12名	車椅子体験
2月27日	瑞穂小学校3年生	18名	視覚障がい体験学

2) 子育て支援サービスの研究と他機関との連携

・子育てサロン事業

瑞穂・石見地域でそれぞれ開設している地域ボランティアグループによる「地域子育てサロン」の参加促進活動、広報活動等の支援を行った。

対象地区	開催場所	開催回数	延べ参加者数	実践者
石見	矢上公民館 井原公民館	11回	113人	子育て支援ボランティア 「こぐまクラブ」 代表 大田浩美

* 瑞穂地域子育てボランティアについては、町外からの参加者もあり新型コロナウイルス感染防止の観点から休止をしている。

3) 「あいサポーター運動」の推進

町民誰もが「障がいをもっと知る・理解する」を目的として、平成23年度より島根県社会福祉協議会が実施する「あいサポーター研修」運動を要請に基づき開催した。

【開催状況】

* 延べ受講者数 1,871名

実施日	受講団体	受講者数	内新規
令和4年5月26日	ひよりの会	25	25
6月20日	矢上高校3年3組家庭科福祉選択生徒	9	9
6月23日	矢上高校3年1組家庭科福祉選択生徒	11	11
9月5日	中野寄り合い処、中野親和会	25	25
12月6日	中国JRバス社員、石見交通社員、住民	19	11
令和5年3月13日	社会福祉法人邑智福祉振興会愛香園	6	6
	計	95	87

4) おおなん奨学資金貸与事業

【新規採用奨学生】	4名
【貸付総額】	7,080,000円（令和4年度）
【償還総額】	4,020,000円（令和4年度）
【総採用奨学生数】	266名
【原資総額】	83,335,395円

5) サマーボランティアスクールの開催

1) 施設体験型

このサマーボランティアスクールは、青少年を取り巻く環境が一層深刻化するなかで、人を思いやる心を育む機会をつくり、子どもたちが自らの意思で参加して、自分たちが主体的に福祉に関われる場を提供したいとの思いで、町内の福祉施設等の協力を得て開催した。

【開催期間】 令和4年7月26日～8月18日まで

【開催場所】 町内受入依頼施設＝22施設（保育所・高齢者・障がい者等福祉施設等）

【参加者】 町内小・中学生〔54名〕（令和元年度95名・令和2年度、3年度中止）

学校名	参加希望人数	学校名	参加希望人数
阿須那小学校	1人	矢上小学校	17人
口羽小学校	0人	日貫小学校	1人
市木小学校	7人	羽須美中学校	0人
瑞穂小学校	5人	瑞穂中学校	11人
高原小学校	3人	石見中学校	6人
石見東小学校	3人	合計	54人

※コロナの為急遽中止となった施設もあり、実体験者数 小学生11名・中学生3名

【開催内容】 施設ボランティア体験

【受入施設】 東保育所、いわみ西保育所、日貫保育所、デイサービス楽屋、希望の郷、香梅苑、桃源の家、老人ホームふる郷、グループホームあすなろ、瑞穂西デイサービス、はあもにいほうす、緑風園、くるみ邑美園、社協介護予防デイサービス、社協西部デイサービス、市木運動教室

V. 各種関係機関との協働による新規事業の研究・検討の実施

(1). 共同募金事業

1) 第4回チャリティグラウンドゴルフ大会

啓発を兼ね楽しく募金活動へ参加できるイベントとして開催。

- 【開催場所】 邑南町青少年旅行村
- 【開催期日】 令和4年7月28日(木)
- 【参加者】 55名
- 【募金総額】 82,066円

2) 第16回邑南町チャリティ神楽大会

- 【開催期日】 令和4年9月10日(土)午後5時～午後10時
- 【開催場所】 健康センター元気館
- 【幹事神楽団】 市木 榎尾神楽団
- 【出演神楽団】 田所神楽保存会、雪田神楽団、出羽神楽団、美穂神楽団、榎尾神楽団
- 【募金総額】 388,617円

3) 共同募金配分金事業

令和3年度の募金実績額に対し、島根県共同募金会より配分金を受け、次の事業を実施した。

- 【配分金】 3,548,433円
 - ・高齢者福祉推進事業〔敬老の日配分事業〕
 - ・相談事業〔法律相談事業等〕
 - ・福祉教育推進事業〔サマーボランティアスクール、ボランティア団体助成〕
 - ・住民全般福祉推進事業〔広報「おおなん社協」発刊〕小地域福祉活動事業

4) 歳末たすけあい事業

令和4年度歳末たすけあい募金(世帯募金)実績額に対し、島根県共同募金会より配分金を受け次の事業を実施した。

- 【配分金】 1,000,000円

1, おせち料理配食事業

お正月に家族の帰省がなく年越しを一人で過ごされる一人暮らし高齢者を対象に、邑南町民生児童委員協議会との共催事業として「おせち料理」の配食を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年より需要が多かった。

- 【配食期日】 令和4年12月31日
- 【助成金額】 1,000円(3,000円のうち2,000円を利用者が負担)
- 【配食数】 228食(羽須美66 瑞穂88 石見74)

2, 地域歳末交流会〔地区社会福祉協議会等に助成〕

地区社協単位に近年の地域状況(過疎化、核家族化の進行、人間関係の希薄化、一人暮らし高齢者の増加等)を踏まえ世代と世帯間交流(児童・生徒との交流)と一人暮らし高齢者・障がい者世帯等にお正月用のお餅を配食する事業として活動費の助成を行った。 **【助成額】**

地区社会福祉協議会名	人口	活動費助成額		
		均等〔40%〕	人口〔60%〕	合計
阿須那地区社会福祉協議会	635	29,091	29,971	59,062
口羽地区社会福祉協議会	663	29,091	31,292	60,383
市木地区社会福祉協議会	392	29,091	18,501	47,592
田所地区社会福祉協議会	1,736	29,091	81,935	111,026
出羽地区社会福祉協議会	811	29,091	38,277	67,368
高原・布施地区社会福祉協議会	972	29,091	45,876	74,967
井原地区社会福祉協議会	604	29,091	28,507	57,598
中野地区社会福祉協議会	1,433	29,091	67,634	96,725
矢上地区社会福祉協議会	2,128	29,091	100,437	129,528
日貫地区社会福祉協議会	431	29,091	20,342	49,433
日和地区社会福祉協議会	365	29,091	17,227	46,318
計	10,170	320,000	480,000	800,000

【生活支援課】

1. 総合相談事業

近年の核家族化や地域社会の変化等に伴い、従来あった家族の自助機能や地域社会の共助機能の低下より多様化・複雑化・専門化の傾向にある住民の抱える生活・暮らしの問題・課題等を解決に導くため「合相談センター」で、相談員 10 名体制と専門相談体制で様々な相談対応を行った。

【相談状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般	11	12	12	18	13	17	7	9	9	8	12	15	143
弁護		7		6		6		4		10		4	37
司法	4		6		6		4		4		4		28
教育				4									4

〔一般相談〕〔143件〕				〔専門相談〕〔65件〕				〔教育相談〕〔4件〕	
高齢者福祉	13	金銭 貸借	2	土地 家屋	6	交通 事故	1	教育相談	4
生 計	39	専門職紹介	8	相続 関係	17	家族 問題	4		
職業・生業	4	権利 擁護	13	金銭 問題	17	生活 保護			
生活 困窮	24	健康・精神衛生	5	高齢者福祉		遺 言			
滞納 関係	11	交通 事故	1	成年 後見	4	登 記	4		
児童 福祉	0	介護 機器	0	離 婚		死後 事務			
苦 情	0	資金 貸付	8	隣人トラブル	2	労働 問題	2		
家族 関係	7	その他	8	権利 擁護	2	その他	6		

2. 邑南町権利擁護センター事業

高齢者や障がい者の意思能力や生活状況に応じて、成年後見制度や日常生活自立支援事業等を活用し、財産管理や身上監護を中心とする権利擁護サービスを提供し、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援することを目的として事業を行った。

1) 運営委員会の開催

- 【日 時】 令和 4 年 6 月 30 日（木）
 【開催場所】 邑南町社会福祉協議会（本部）
 【協議事項】 1. 令和 3 年度事業報告について
 2. 令和 4 年度事業計画について
 3. あんしんサポート事業について
 4. その他

【運営委員】

委員名	職 名	備考
小笠原誠治	邑南町役場福祉課課長	委員長
阪田 健嗣	石見成年後見センター運営委員	副委員長
井川 隆英	島根県社会福祉士会川本ブロック長	
下田 浩士	邑智福祉振興会「愛香園」	
大江 貢	おおなん福祉会「ハートフルみずほ」	
日野原哲夫	邑南町社会福祉協議会会長	

2) 権利擁護に関する相談及び成年後見制度の手続き支援

- 【相談件数】 2, 650件〔成年後見 1,840件、日自 810件〕
 【手続支援】 9件〔法定後見 8件、任意後見 0件〕
 【受任件数】 25件〔後見 14件、保佐 10件、補助 1件〕

3) 権利擁護サービスの提供〔日常生活自立支援事業〕

- 【契約件数】 1件（総件数 14件）
 【権利擁護支援員】 39名

4) 審査委員会の開催

【開催数】 4回
 【審査件数】 5件〔専門職受任件数3件〕

【審査委員】

委員名	職名	備考
三上 洋司	行政書士	委員長
服部 卓夫	社会福祉士	
植田 弘樹	司法書士	
三上 瑞恵	邑南町役場福祉課	
南原美穂子	邑南町役場福祉課	
甲村 正樹	邑南町社会福祉協議会事務局長	副委員長
渡邊 健二	邑南町社会福祉協議会生活支援課課長	
長尾 順恵	邑南町社会福祉協議会担当職員	
日高 夏海	邑南町社会福祉協議会担当職員	

3. 生活困窮者自立相談支援事業

1) 平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法が全国（福祉事務所を設置する自治体）で施行され、生活保護受給者以外の生活困窮者に対する「第2のセーフティーネット」を拡充するもので、生活保護に至る前の段階から支援を早期に行う事業として展開した。

【相談受付状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談受付	1	0	1	0	1	3	0	3	3	0	1	2	15
新規作成	1	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	1	7
終結中断	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
更新作成	2	2	1	2	2	3	5	3	0	2	0	6	28

【就労準備支援事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規作成	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
終了中断	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
更新作成	4	0	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	23

【自立支援対象者 年代性別内訳】

性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	プラン作成〔同意〕
男性	0	3	2	2	2	6	20件
女性	0	2	2	1	0	0	

【相談経路】

本人（来所）	本人（電話・メール）	家族・知人（来所）	家族・知人（電話）
0件	2件	1件	1件
民生委員	保健師	福祉事務所	他相談事業所
0件	1件	3件	3件
当法人が把握	公共職業安定所	地域包括支援センター	医療機関
2件	0件	1件	1件

【支援回数】 603回（延べ回数）

2) 「フードバンクおおなん」の実施

家庭に眠っている食品等を寄贈していただき、生活に困窮している方に無償で提供した。

【提供件数】 49 件

3) 「おおなんレスキュー事業」の実施

既存制度で対応できない複合化した様々な生活問題・地域課題（生活困窮的課題）において、その“制度の狭間”の生計困難となった方等へ対応するために、相談及び生活支援事業等に取り組み、緊急切迫した需要に対し現物給付を行なった。

【給付件数】 1 件

【対應用例】 食料支援、衣類等、住居確保、就職活動経費等

4) 就労準備支援事業

就労に必要な実践的な知識・技術等は欠けているだけではなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下しているなどの理由により直ちに就労することが困難な方に、一般就労に従事する準備として基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援を行った。

【プラン作成件数】 7 件

【延べ支援回数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
農福活動	21	21	19	19	21	21	20	21	21	18	19	21	242
地域活動	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
内職活動	12	14	12	14	15	16	15	16	14	0	12	14	154

5) 家計改善支援事業

家計表等のツールを活用し相談者自らが家計の状況に見える課題を把握することで、家計の再生に向けた具体的な方針を立て、自ら家計管理ができるように支援を行った。

【プラン作成】 4 件

6) 当事者家族会（コミュニティボズ）の支援活動

属性や性別年齢を問わず、何らかの理由で生きづらさがあり地域社会とのつながりが困難で日常生活に不安を感じておられるかたが、気軽に相談できる場所や趣味、余暇を通じての交流活動を実施し、地域社会への第1歩を踏み出せるように寄り添い型の伴走支援を行った。

【実人数】 16 名 【延べ人数】 304

【利用者】

- ・引きこもり・閉じこもりの方
- ・介護保険サービスや障がい者制度など既存の制度につながない方
- ・既存の制度やサービスでは対応できない方

7) 一時生活支援事業

緊急的な事態により起居の場所、食の確保等が困難になり、最低水準の生活が担保されない対象に、その生活拠点を提供し相談支援を介在させることで、社会的困窮・経済的困窮あるいはその両方からの回復を支援する事業を行った。

【実施件数】 1 件

【対応内容】 2 軒の一時生活支援拠点（シェルター）を提供

生活支援事業

1) 生活福祉資金取扱状況

他の貸付制度が利用できない低所得世帯、あるいは障がい者や高齢者のおられる世帯に対し、民生児童委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進する目的で貸付け業務を行った。

年度当初取扱件数	79件	教育支援費／13件 就学支度費／14件 福祉費／4件 療養介護等資金／1件 緊急小口／29件 総合支援資金／18件
3月末取扱件数	68件	教育支援費／13件 就学支度費／14件 福祉費／4件 療養介護等資金／1件 緊急小口／19件 総合支援資金／17件
資金相談件数	170件	生活福祉資金についての相談

* 生活福祉資金特例貸付対応の実施

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方に向けた緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の相談・申請手続きの対応を行った。

緊急小口資金特例貸付 2件 総合支援資金特例貸付 1件

2) 民生融金取扱状況

低所得世帯に対し、生活に緊急必要な一定の資金を貸し付けし、その福祉増進を図ることを目的として貸付業務を行った。

令和4年度当初		令和4年度中 (R4/4/1~R4/9/30)			
貸付		新規貸付		償還	
人数	金額	人数	金額	人数	金額
1	14,000	0	0	1	14,000

3) 安心生活支援事業

生活に困窮している方が、安心して年越しできるよう食料品等を現物支給した（当事者会の運営による）。

【支給日】 令和4年12月末

【対象者】 17名（生活困窮者自立支援計画策定者）

4) 福祉系大学・専門学校生実習受け入れ（社会福祉士・介護福祉士）

・社会福祉体験実習生への実習指導

令和4年8月15日（月）～9月15日（木）

福山平成大学 福祉健康学部福祉学科 社会福祉課3年

【居宅介護支援事業課】

【居宅介護支援事業所】

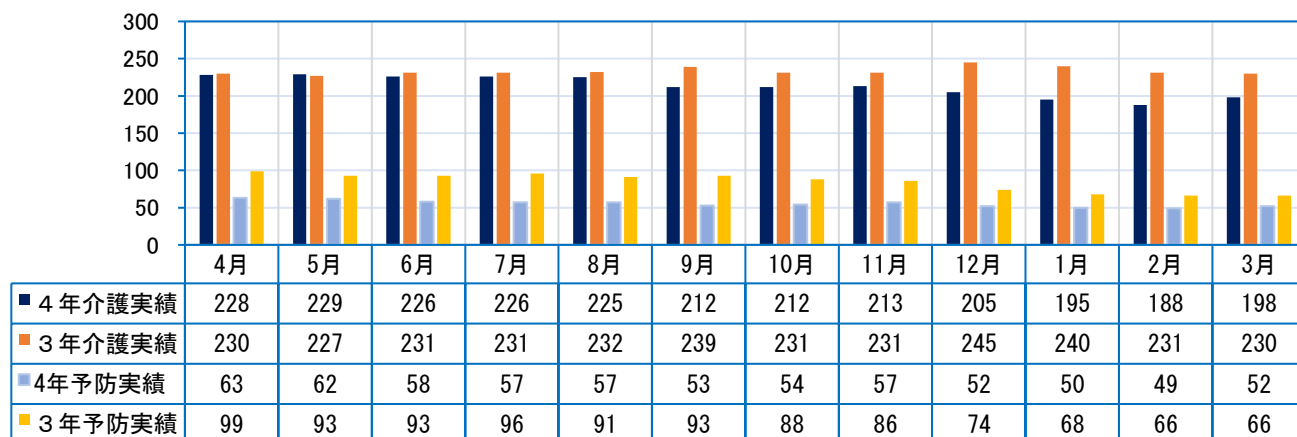
介護保険法の理念に基づき、利用者が可能な限り住み慣れた地域において、心身の状況その置かれている環境に応じて、適切な保健・医療・福祉サービス等が受けられるように、各事業者と連携して、自立した生活を送れるような居宅サービス計画（ケアプラン）の作成等を行った。

【事業目標】 担当件数の適正化を図る

- ・令和4年度は職員の退職等で人員の確保ができず1名減の7名体制で事業を行った。年度当初、1名35件を7名に振り分けたため、新規の受け入れを休止した形ではあったが、利用者家族の新規の受け入れや3名の新規受け入れ等、毎月の担当数や業務状況を見ながら受け入れに向けて努力した。
- ・担当数については、概ね令和4年度目標数に達成。①参照
- ・もち数の中に毎月15件程度入所や入院、利用につながらない利用者がある。②参照
- ・令和4年度の目標額は人件費を考慮して設定しており、令和4年度は適正な担当数に調整した結果、目標達成できなかった。③参照

令和4年度 目標担当数 *職員一人当たり40件	要介護	予防（事業対象含む）	担当数合計
	235件	50件	285件
令和4年4月もち数	242件	67件	309件
令和5年3月もち数	206件	56件	262件

月別居宅介護支援計画状況（実利用者前年度比較）①



【担当内訳数】

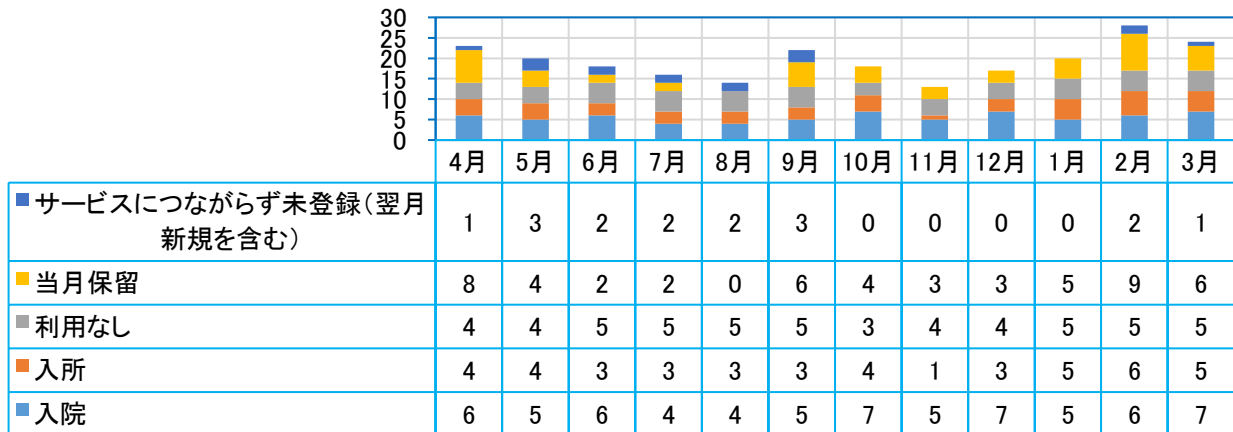
令和4年度 (3月末時点)	課長	管理者	正規職員(3)	嘱託職員(2)	計
介護	29件	33件	30件	27件	206件
予防（事業を含む）	5件	7件	10件	7件	56件
計	34件	40件	40件	34件	262件

【契約者数】

()は利用者家族からの申請件数	【介 護】		【予 防】	
	新規契約者	契約終了者	新規契約者	契約終了者
4年度	28(3)	66	9(7)	22
3年度	78	67	18	35
比較	-50	-1	-9	-13

【未利用者について】

令和4年未利用者内訳 ②



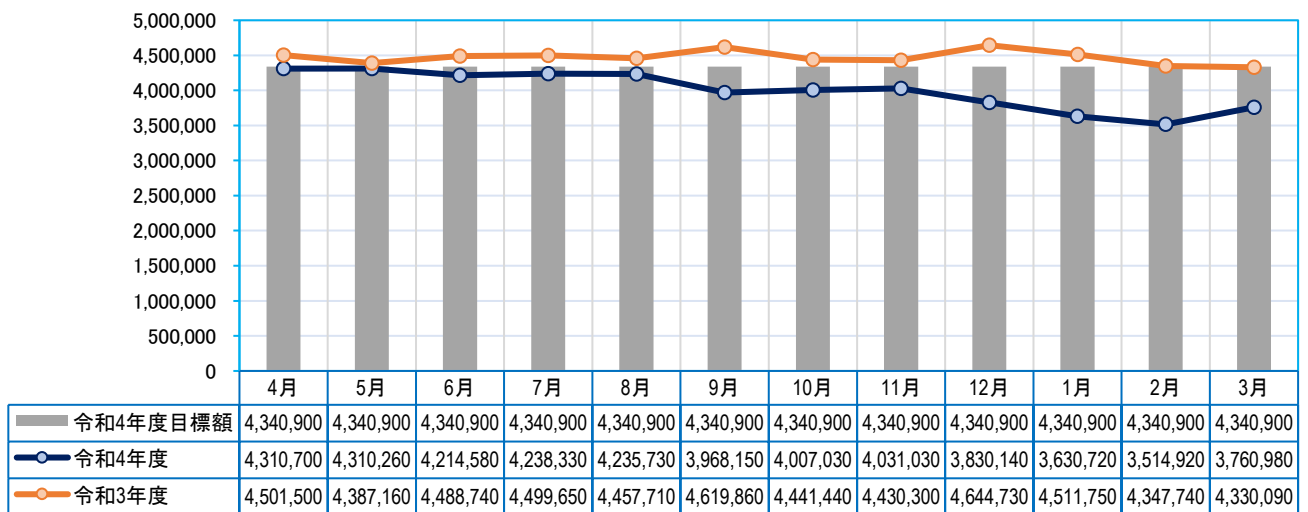
当月保留：サービス利用はあるが、更新や区分変更申請中で請求月に認定が出ていない場合。

利用なし：サービスの紹介、調整をしても利用につながらない場合、計画しても利用が無い

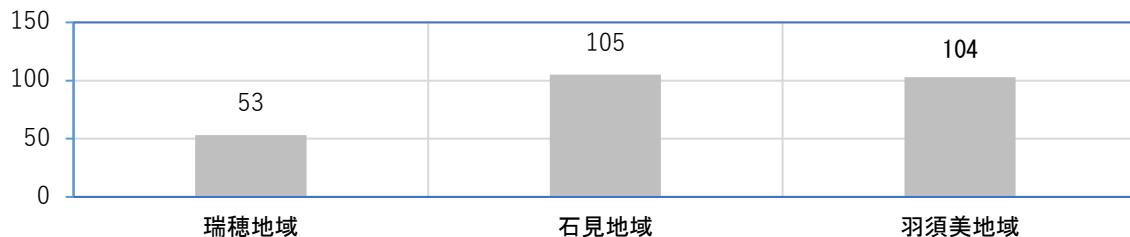
入 所：冬期、夏期に3ヶ月程度入所。その間実績はないが、退所後在宅でサービス利用される場合。

* 利用無し、利用につながらない方に対しての対応を検討する必要がある。

月別実績前年度比較（介護・予防）③



【地域別利用者数】



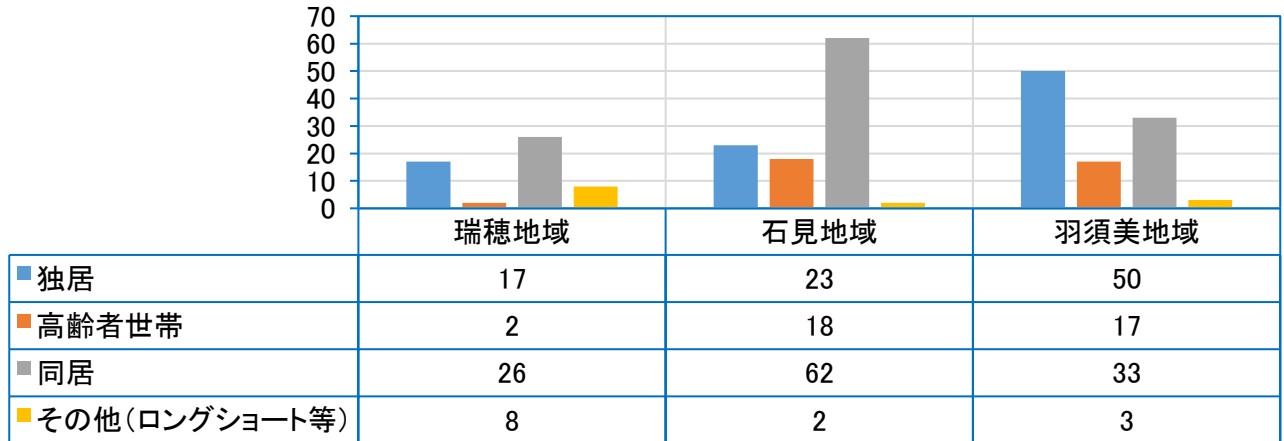
	瑞穂地域	石見地域	羽須美地域
担当ケアマネ数	2名	4名	3名

・町内全域を対応するために本部を拠点に7名それぞれ複数地域を担当。

・本部拠点で地域によって移動距離が異なるため、各センターにパソコンやシステムキーを持っていき業務を行い効率化を図った。システムキー、パソコンの持ち出しについては予定表に記載して管理した。

・一日走行距離平均30~40km。100km走行もあり。

【利用者世帯状況】



・サブ制度の導入について（困難事例から導入）

現在二人対応 1件（管理者で対応）

困難事例 14件（包括に相談ケース、家族関係に問題があるケース、家族に障害者あり等）

【町内の介護保険サービス提供事業所所在地域と数】

	瑞穂地域	石見地域	羽須美地域
通所介護	1	3	1
訪問介護	1	1	1
訪問看護	1	1	1
訪問リハ	1	1	0
デイケア	2	0	0
ショート（特養）	1	1	1
〃（老健）	1	0	0
福祉用具事業所	2	0	0

・地域資源は地域差があり、事業所によっても対応可能エリア、利用回数等受け入れの制限がある。そのため必要なサービスの確保として町内の事業所に限らず、隣接する県外のサービス事業所を開拓し調整支援をした。福祉用具貸与事業所については浜田市3件、益田市1件、三次市3件利用中。

* 羽須美地域：町内事業所に加えて訪問リハ、デイケア、ショート等→三次地域のサービス

石見地域：町内事業所に加えてデイケア、ショート等→浜田市（旭町）や川本町のサービス

瑞穂地域も必要に応じて対応

- ・地域の支え合いや優友サポーターの活用等介護保険外の支援も活用した。
- ・必要なサービスについて法人内や地域ケア会議等で積極的に提案をした。
- ・地域資源が不足しており、世帯の変化、利用者自身の転倒や入退院等状態の変化によって世帯に関係なく施設利用に移行される傾向。コロナによる影響も少なからずあった。

【法人内の連携について】

- ・通院時の院内介助について介護保険のサービス調整ができないため地域福祉課に相談、通院付添サービス（モデル事業）の活用で受診の支援が出来た。

【その他】

・ICT活用による業務の効率化について

- ・タブレット活用の研修はコロナの対応等で時間の調整がつかずできなかった。
- ・分散業務時はズームを活用して課内会議開催。自宅待機期間是在宅ワークを行って業務継続に努めた。（東部センターのWi-Fi環境の整備を行った）
- ・自宅にWi-Fi環境がない職員もあったため、レンタルモバイル等検討が必要。
- ・訪問時や時間外、祝祭日は利用者等の連絡について業務用携帯が24時間用1台のため個人携帯を使用した。

・BCP計画作成と研修について

- ・令和5年2月を目標に進めていたが、コロナの対応等で達成できなかった。
- ・令和5年度前期を目標にひな形に必要な事項を埋め込む作業等計画を作成し、研修する。

令和4年度コロナ感染確認状況等

コロナ陽性、濃厚接触（疑い）の確認数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス事業所	3			3	2	1		4	2	3	3	
会議等							2					
利用者、家族	1			1	1	3	2					
法人内								2	2			
職員（濃厚接触疑いを含む）				1	4	1	3	7				
職員の家族				1	3	2	3	2		1		
特別休暇取得（日数）				10	15	6	15	13		4		

- ・令和4年度は年間通してコロナ対応に追われた。（情報収集、サービスの調整等）
- ・11/15, 18 本部内でコロナ感染確認のため事業所閉所→自宅待機中は24時間携帯で当番を通して相談等対応した。自宅にパソコンを持ち帰り個人携帯を使用しながら必要に応じてできる範囲で業務を行った。
- ・職員のコロナ感染による療養中も担当以外で対応が難しい場合もあり、個人携帯で相談等対応をした。
- ・業務継続のために東西センターの協力を得て11/21～石見地域担当2名（西部センター）11/28～羽須美地域担当2名（東部センター）にて3/2まで分散業務を行った。
- ・職員間での連絡は、個人の携帯電話グループラインを活用して情報共有を図った。
- ・事業所内で自宅療養、待機中の職員の業務等フォローを行った。

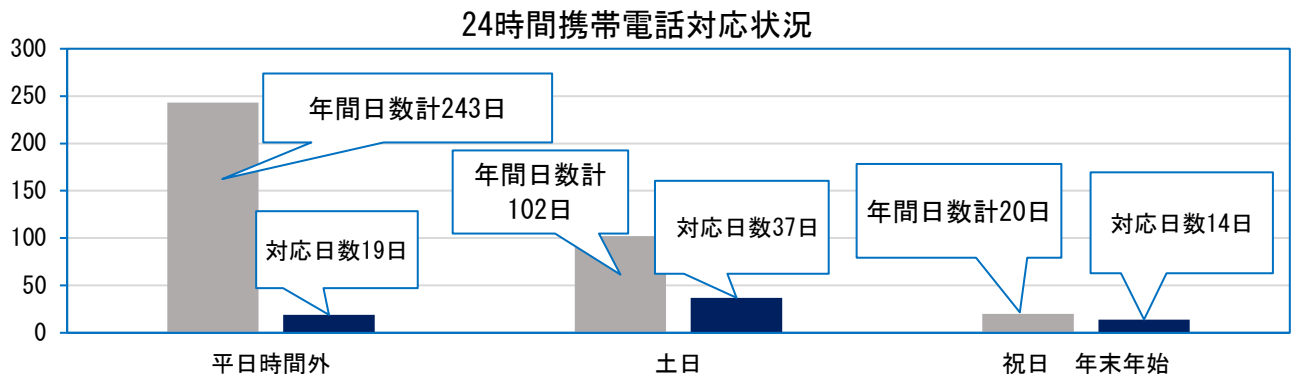
・質の高いケアマネジメントを推進する観点から、特定事業所加算Ⅱを算定

特定事業所加算算定要件

・職員の配置

	加算（介護一人当たり算定）	常勤専従の主任介護支援専門員の配置	常勤専従の介護支援専門員の配置
特定事業所加算Ⅰ	5,050円	2名以上	3名以上
特定事業所加算Ⅱ	4,070円	1名以上	3名以上
特定事業所加算Ⅲ	3,090円	1名以上	2名以上
特定事業所加算A	1,000円	1名以上	1名以上、非常勤1名以上

・24時間連絡調整できる体制（24時間携帯電話の対応）



- ・ケアマネ7名、1週間交代で対応。電話当番はケアマネ一人当たり年間約50日、一カ月半に1回の割合で対応した。
- ・担当以外でも必要時には電話の担当より連絡が来るため休みでも対応した。頻度は高くないものの精神的負担は大きい。

・地域ケア会議等参加と週1回事業所内会議開催

- ・デイケアのリハビリ会議：利用者ごとに3ヶ月に1回（ズーム会議にも対応）
- ・地域ケア会議：年間19回（邑智病院、瑞穂地域、羽須美地域）
- ・東部連絡調整会議：東部通所介護、訪問介護事業所、社協福祉用具貸与事業所との会議等 年間12回
- ・河野医師とのケア会議：毎月1回
- ・他の居宅介護支援事業所との会議、研修については邑智地域介護支援専門員協会の活動がコロナで休止しているため、地域ケア会議等を活用して行った。

・実務研修の受け入れ（事業所加算Ⅱ算定要件）

- ・2/13（月）、2/24（金）、3/3（金） 1名受け入れ、主任ケアマネの資格保有者4名で対応した。
実習料 1人 3,000円

・年間の個別研修計画の実施

- ・コロナ禍で集合研修に加えてオンライン研修を活用した。
- ・有資格者に対し有効期間内に更新研修の実施

介護支援専門員更新研修	2名	主任介護支援専門員研修	1名
-------------	----	-------------	----

★職員の配置にかかわる職員体制について

現在職務についている職員で今後事業継続した場合の担当数の推移（ ）は主任介護支援専門員資格保有者数

*令和5年度～9年度までの現状職員での体制と担当数について（現任が資格更新、主任研修する前提）

	4年度(3月)	5年度	6年度	7年度		8年度	9年度
課長	1名(1)	1名(1)	職員1名退職	嘱託1名採用の場合			職員1名退職
管理者	1名(1)	1名(1)	1名(1)	1名(1)	1名(1)	1名(1)	1名(1)
正規職員	3名(1)	3名(2)	3名(2)	3名(3)	3名(3)	3名(3)	2名(2)
嘱託職員	2名(1)	2名(1)	2名(1)	1名	嘱託2名退職		
介護	206	196	185	161	136	136	125
予防	48	45	45	32	20	20	20
事業	8	4	0	0	0	0	0
担当総数	262	245	230	193	156	156	145

・人材確保についての取り組み

介護支援専門員資格保有者（ケアマネ7名を除く）	3名	内2名令和4年度再研修支援実施
要再研修	2名	
介護支援専門員受験資格のある者	17名	令和4年度各課長より受験を促す
令和4年度受験者	1名	
公募による採用	0名	

【福祉用具貸与・販売事業所】

介護保険認定者が在宅で生活をしていく上での自立支援、介護者の方の負担軽減等を目的として貸与を実施した。また利用者の心身の状態、希望、環境等を踏まえ、適切な福祉用具の選定、援助を行った。コロナ禍で研修がない中、レンタル業者の協力で用具の理解等工夫した。また矢上高校の福祉教育に講師依頼を受け対応した。

【事業目標】

・介護保険外の貸与について見直し

- ・マットの交換依頼があった時等にモニタリングを実施した。状況に応じて介護保険の紹介をしたが、利用者、家族さんが希望されず継続の方もあった。
- ・介護保険認定者であっても、介護度によって介護保険で利用ができない用具の貸与の場合や、介護保険のサービスを区分限度額いっぱい利用されている場合には、利用者、家族、ケアマネさんと協議し一般レンタルで対応した。モニタリングをする中で状況に応じて担当ケアマネに介護保険移行を相談した。

【介護保険】

・毎月 20 名程度介護認定更新者があった。加えて半年に 1 回 20 名程度プランの見直しがあり、毎月 40 件程度モニタリングを行った。

・新規・終了者

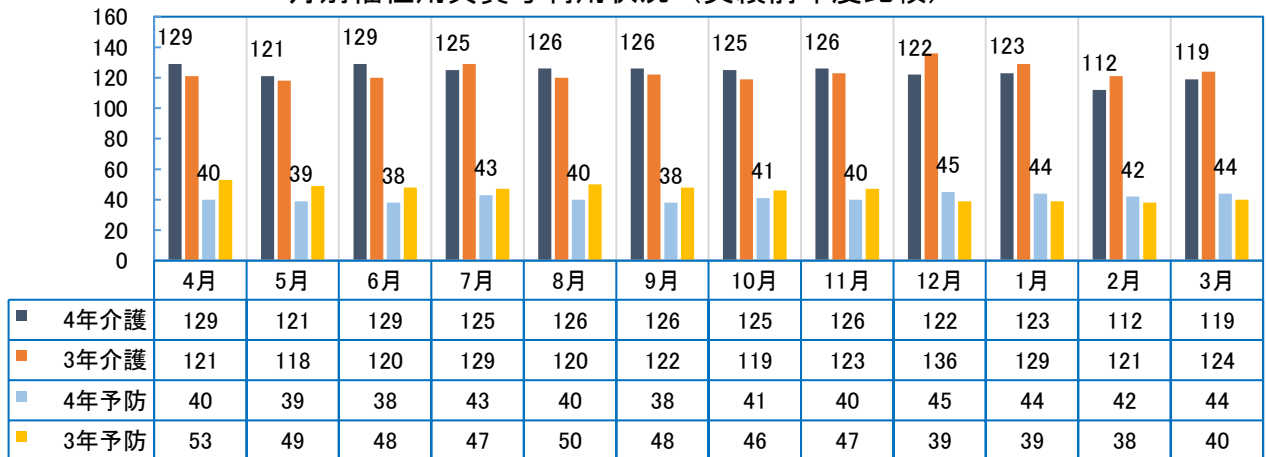
	【介 護】		【予 防】		【一般レンタル】	
	新規契約者	契約終了者	新規契約者	契約終了者	新規契約者	契約終了者
4 年度	32	50	15	7	11	11
3 年度	43	76	13	6	7	12
比 較	-11	-26	2	1	4	-1

・数値目標

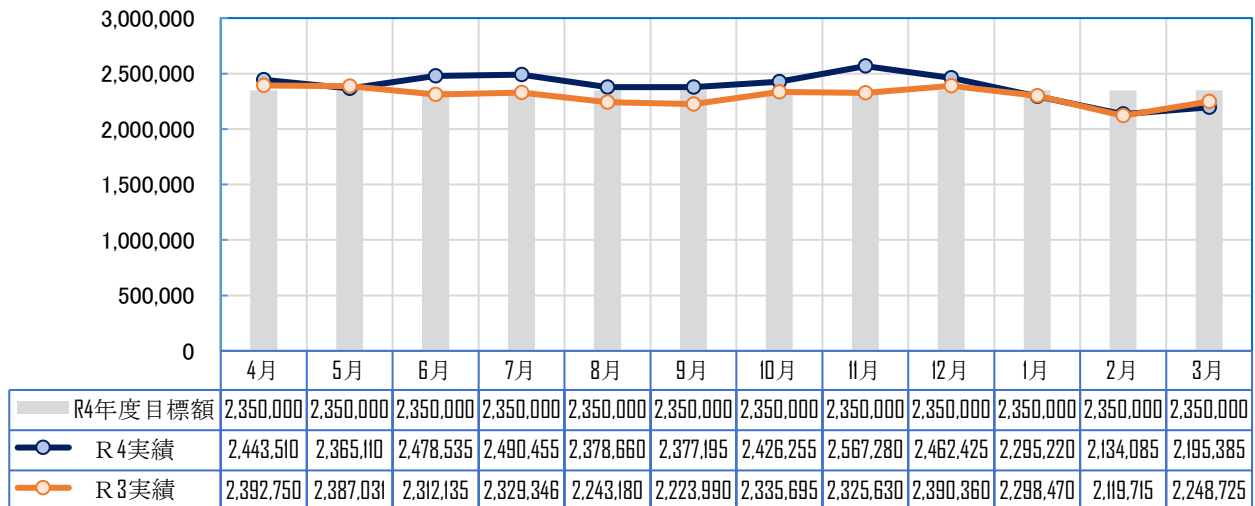
	令和 4 年度数値目標	3 月末時点の数値
介護保険利用者	160 名	163 名
一般レンタル利用者	30 名	26 名
福祉用具販売	60 件	73 件

- ・介護保険利用者については概ね目標数を達成した。
- ・一般レンタル利用者で介護保険認定未の利用者 3 名

月別福祉用具貸与利用状況（実績前年度比較）

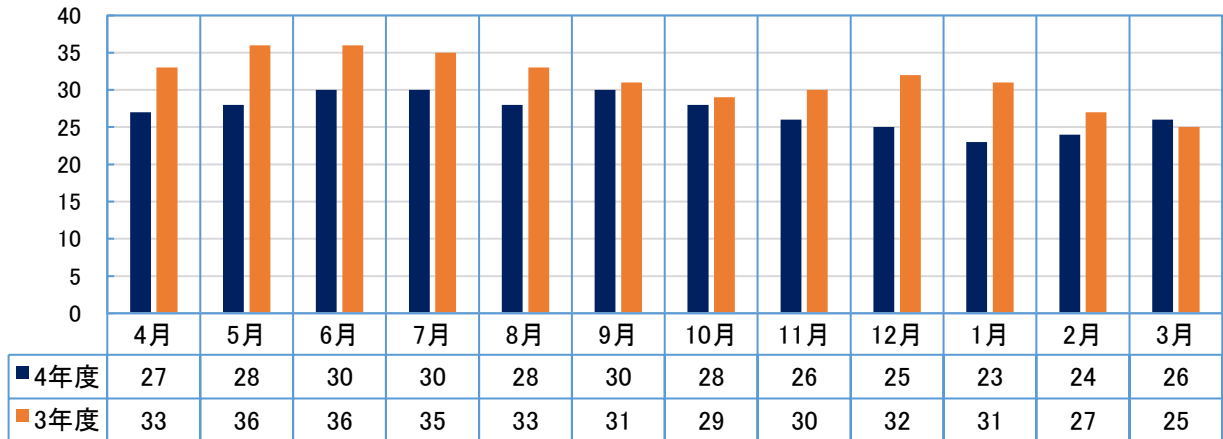


実績前年度比較（介護・予防）

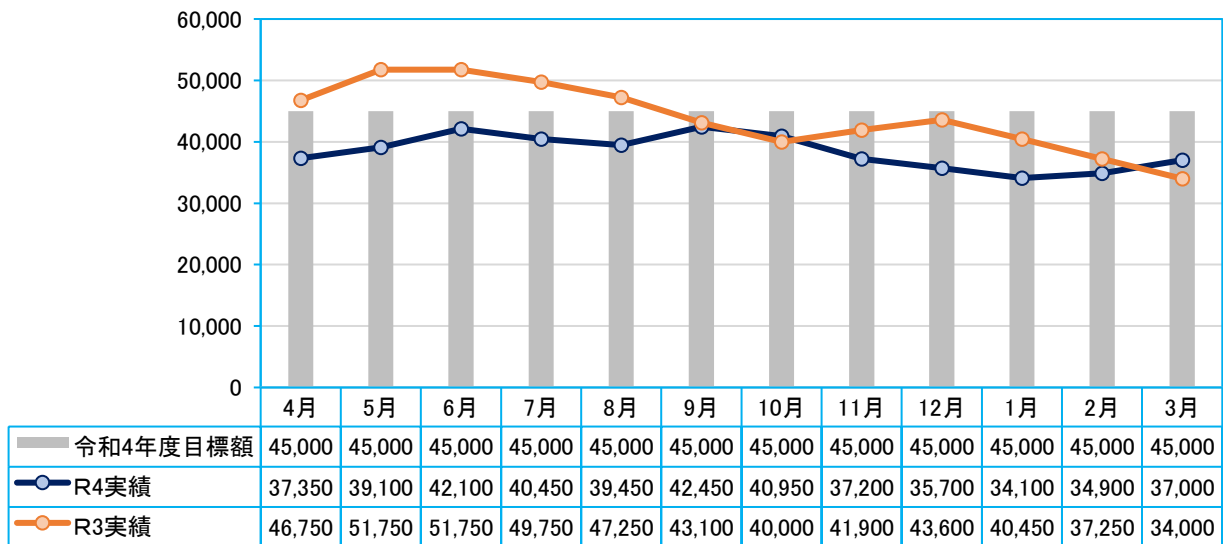


【一般】

一般レンタル利用状況（実績前年度比較）

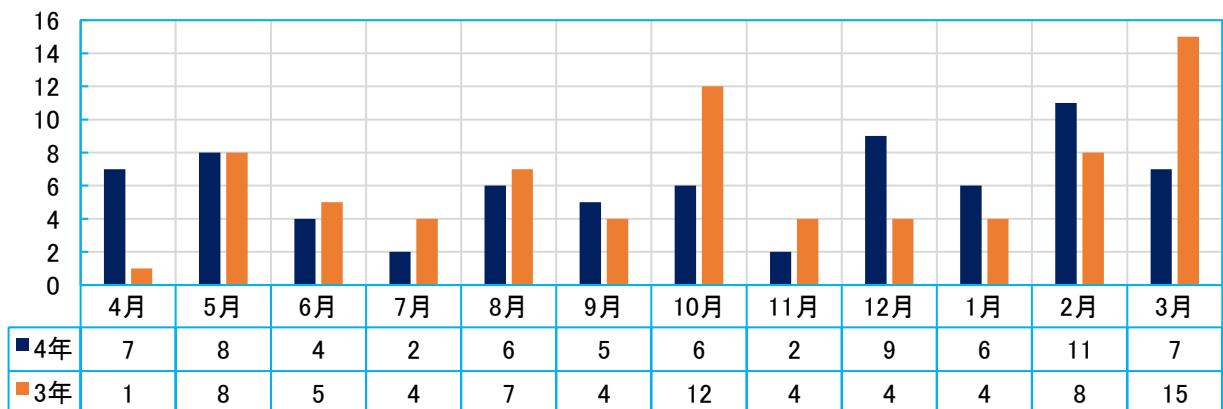


一般レンタル実績前年度比較



【福祉用具販売】

福祉用具販売状況（実績前年度比較）



* 購入品の主なもの Pトイレ

* 介護保険対象でないものについては送料を加えて金額の設定をした。

・備品の整備（令和3年度に引き続き実施）

・自社用具所有状況

令和4年度末	廃棄分	在庫	貸与中	自社所有数
ベッド（介護保険適用）		3	8	11
ベッド（介護保険適用外）	2	15	30	45
マット	2	8	28	36
サイドテーブル		2	3	5
介助バー	5	1	12	13
車椅子		0	1	1
歩行器		3		3

- ・介護認定を受けている方の中で、一般レンタル対応をしている方の中に介護保険適用外のベッドを貸与している場合、介護保険貸与に移行した時点で介護保険適用のベッドに入れ替えをした。
- ・モニタリング時に用具の状態を確認、状態によって入れ替えのため引き上げ廃棄した。
- ・自社所有の用具について管理をする負担を考え、破棄後購入による補充はせずリース対応をした。

・BCP計画作成と研修について

- ・厚労省のひな形をもとに令和5年2月作成目標だったができなかった。

令和4年度コロナ感染確認状況等

コロナ陽性、濃厚接触の確認数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サービス事業所												
会議等					1							
利用者、家族												
法人内								2	2			
職員（濃厚接触疑いを含む）								3	2			1
職員の家族					1	1		1	2	1		1
特別休暇取得（日数）					3	1		13	14	4		3

- ・11/15、18本部内でコロナ感染確認のため事業所閉所。
- ・コロナ禍、利用者宅の訪問にあたっては感染対策をして行った。面会ができない場合もあり家族からの聞き取りで対応した。社協の事業所を利用されている方は事業所間で情報共有して補った。
- ・職員間での連絡は、個人の携帯電話グループラインを活用して情報共有を図った。

・研修について

- *他事業所と連携した研修会は、コロナ禍でできなかった。
 - *コロナ禍で外部研修の機会が少なかったが、レンタル業者に商品について説明や使用方法等の習得、オンライン研修を活用した。
- ※8月にソフトの更新

・職員体制について

※職員体制について		所有資格	人数
福祉用具専門相談員（管理者）	正規職員	介護福祉士	1名
福祉用具専門相談員	嘱託職員	福祉用具専門相談員	1名
福祉用具専門相談員	臨時職員	福祉用具専門相談員	1名

- ・ベッドの搬入等リースの場合は業者の対応があるが、自社ベッドについては自社で組み立て等対応する必要があるため男性職員の配置は必要。急な引き上げ等に事業所内の職員体制が取れない場合は、本部男性職員の支援を得て対応した。

【西部介護保険課】

【通所事業】

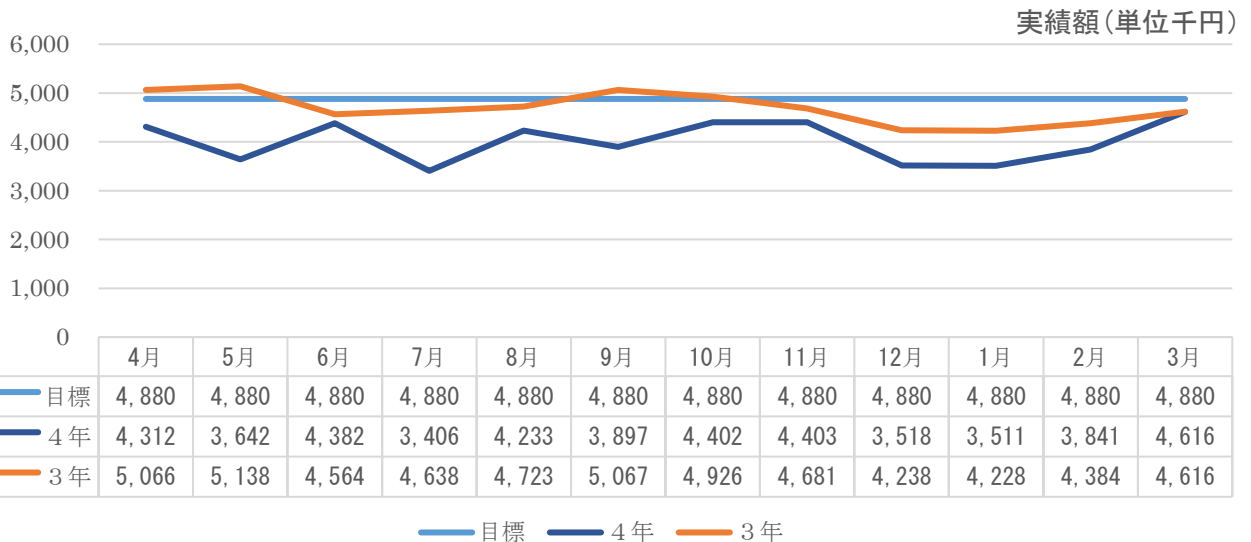
利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持・向上並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るという基本方針に基づき、ケアプランに沿ってサービスの提供に努めた。

【介護・予防】月別利用者状況（実利用者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	54	50	50	48	52	52	49	53	51	52	57	46	614
3年	58	59	58	54	56	59	59	57	57	54	56	57	684
比較	-4	-9	-8	-6	-4	-7	-10	-4	-6	-2	1	-11	-70

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	447	359	461	376	435	416	422	455	374	370	387	436	4,938
3年	461	477	447	463	454	488	482	456	418	405	419	487	5,457
比較	-14	-118	14	-87	-19	-72	-60	-1	-44	-35	-32	-51	-519



実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	4,880	58,560
4年	4,312	3,642	4,382	3,406	4,233	3,897	4,402	4,403	3,518	3,511	3,841	4,227	47,774
3年	5,066	5,138	4,564	4,638	4,723	5,067	4,926	4,681	4,238	4,228	4,384	4,616	56,269

【障がい】月別利用者状況（実利用者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	35
3年	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34
比較	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	1

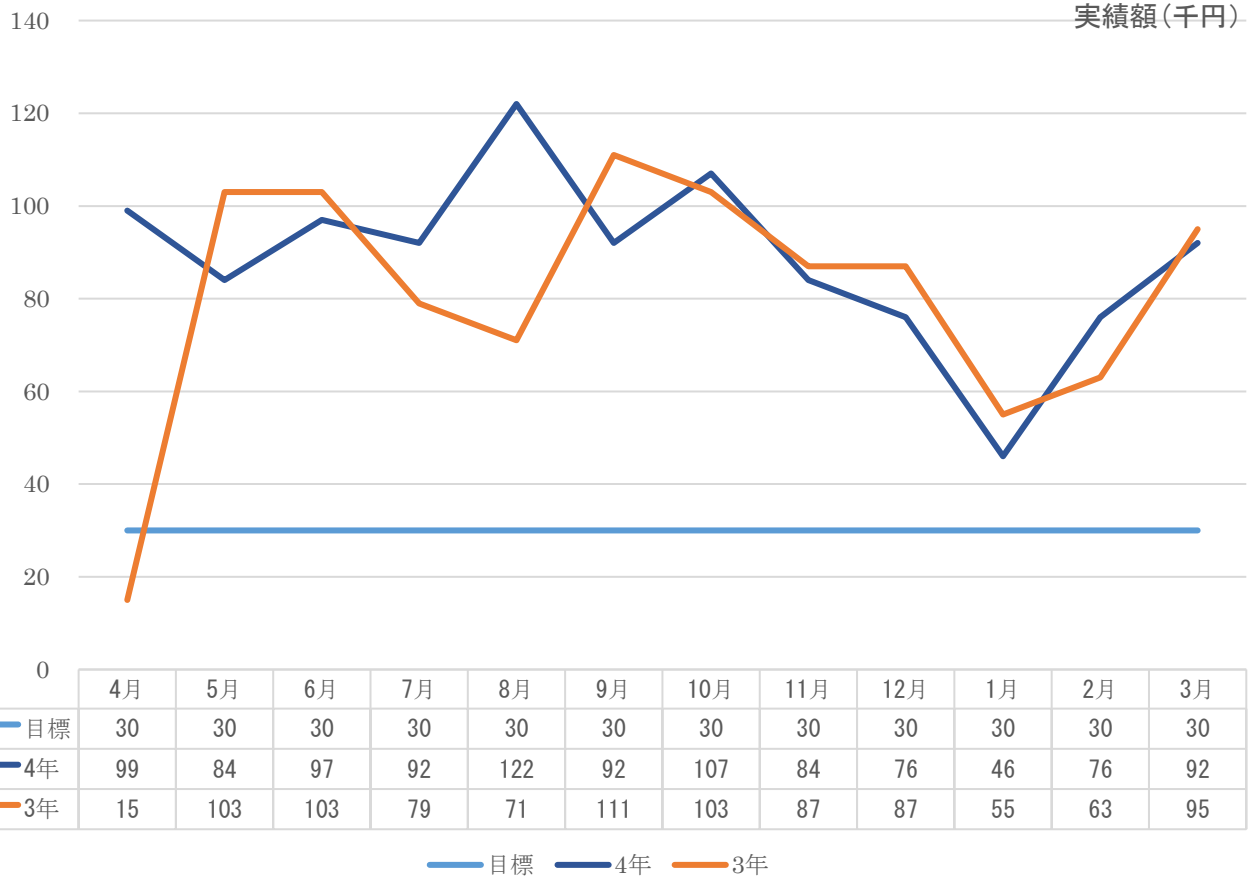
延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	12	11	13	12	16	12	14	11	10	6	10	12	139
3年	2	13	13	10	9	14	13	11	11	7	8	12	123
比較	10	-2	0	2	7	-2	1	0	-1	-1	2	0	16

実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
4年	99	84	97	92	122	92	107	84	76	46	76	92	1067
3年	15	103	103	79	71	111	103	87	87	55	63	95	972



【高齢者等外出支援事業(町委託事業)】実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	4	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	1	19
3年	4	3	4	3	3	4	3	3	2	3	2	2	36
比較	0	-1	-2	-1	-1	-2	-1	-2	-1	-3	-2	-1	-17

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	8	9	6	8	4	10	8	1	4	0	0	2	60
3年	10	7	11	8	10	8	11	8	8	7	5	7	100
比較	-2	2	-5	0	-6	2	-3	-7	-4	-7	-5	-5	-40

〔介護・予防〕

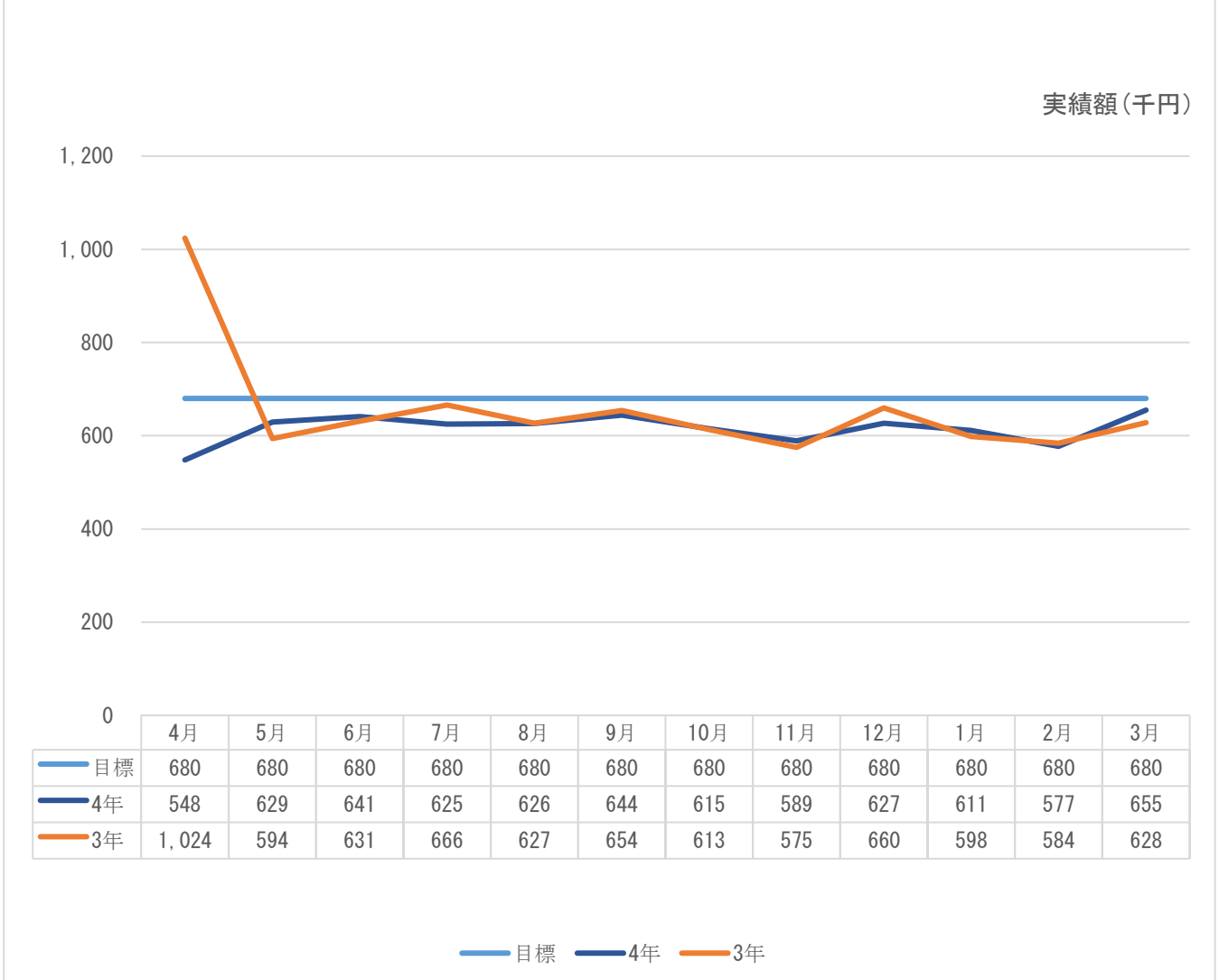
利用登録者数の減少により、利用回数が減少。長期入院やショートステイの利用、施設入所が多くあった為、実績に影響している。

〔障がい〕登録者3名。週1回の利用を継続されている。

〔移送サービス〕定期利用される利用者が1名になり実績が減少。その方も冬期間は長期のショートステイを利用される。

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	81	94	93	93	92	94	91	84	92	90	82	96	1,082
3年	95	88	92	97	92	94	90	83	97	88	86	90	1,092
比較	-14	6	1	-4	0	0	1	1	-5	2	-4	6	-10



実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	680	680	680	680	680	680	680	680	680	680	680	680	8,160
4年	548	629	641	625	626	644	615	589	627	611	577	655	7,387
3年	1,024	594	631	666	627	654	613	575	660	598	584	628	7,854

【生活管理指導員派遣事業】

利用者なし

〔介護保険〕

年間 15 名の新規登録があり、実績が少しずつ増加している。訪問希望曜日の指定や希望時間が重複するため調整が難しくなっている。

〔障がい〕

利用者数、利用回数ともに大きな変化はない。要望が多様化しており、相談事業所と連携をとりながら支援している。

【訪問看護事業】

利用者の方の療養生活を支援し、心身の維持回復、介護者の負担軽減をめざし、主治医の指示のもとサービスの提供を行った。

昨年度同様、県からの委託を受け、新型コロナウイルス感染症自宅療養者に対する健康管理を行った。

【介護】月別利用者状況

実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	27	23	25	20	27	24	26	25	22	24	22	23	288
3年	25	24	26	26	25	26	27	26	24	28	21	26	304
比較	2	-1	-1	-6	2	-2	-1	-1	-2	-4	1	-3	-16

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	113	115	128	92	113	115	127	121	96	103	87	111	1,321
3年	121	107	125	123	123	115	126	124	98	116	88	134	1,400
比較	-8	8	3	-31	-10	0	1	-3	-2	-13	-1	-23	-79

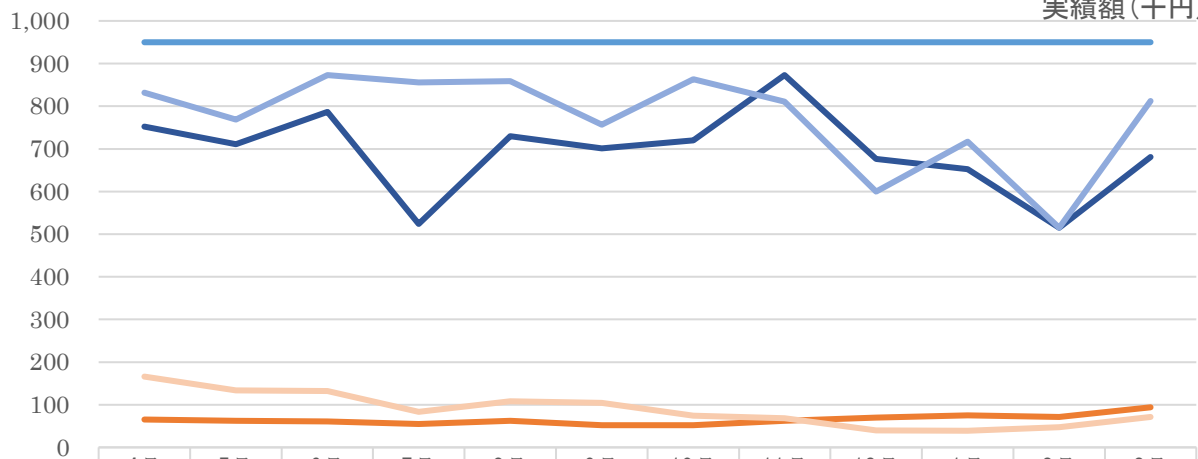
【予防】月別利用者状況（実利用者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	2	2	2	3	3	2	2	2	3	3	3	4	31
3年	5	5	4	3	4	4	2	2	1	1	2	2	35
比較	-3	-3	-2	0	-1	-2	0	0	2	2	1	2	-4

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	13	13	13	11	13	11	11	13	15	16	14	19	162
3年	32	26	25	16	21	20	14	13	8	8	9	14	206
比較	-19	-13	-12	-5	-8	-9	-3	0	7	8	5	4	-44

実績額(千円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950
4年(介護)	752	711	787	524	730	701	720	873	676	652	515	681
4年(予防)	65	62	61	55	62	52	52	62	70	75	71	94
3年(介護)	832	769	873	856	859	757	863	811	600	717	515	812
3年(予防)	166	134	132	83	108	104	74	68	40	39	47	71

— 目標 — 4年(介護) — 4年(予防) — 3年(介護) — 3年(予防)

実績

(千円)

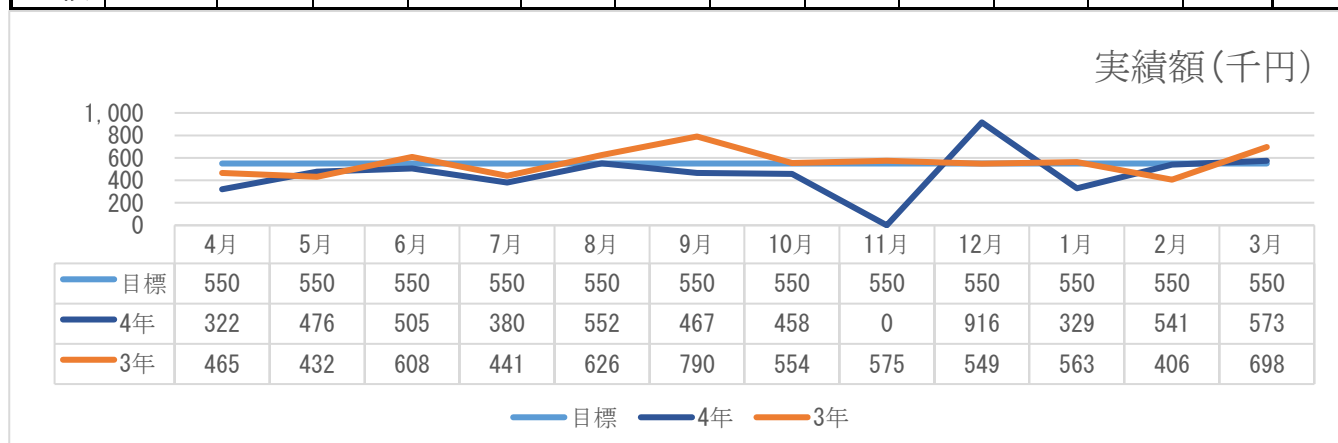
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
目標	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	950	11,400	
4年	介護	752	711	787	524	730	701	720	873	676	652	515	681	8322
	予防	65	62	61	55	62	52	52	62	70	75	71	94	781
実績計	817	773	848	579	792	753	772	935	746	727	586	775	9,103	
3年	介護	832	769	873	856	859	757	863	811	600	717	515	812	9,264
	予防	166	134	132	83	108	104	74	68	40	39	47	71	1,066
実績計	998	903	1,005	939	967	861	937	879	640	756	562	883	10,330	

【医療】月別利用者状況（実利用者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	12	14	15	13	13	12	12	13	13	12	11	11	151
3年	11	11	12	11	11	12	15	15	12	17	13	18	158
比較	-3	2	2	3	2	0	-3	-2	1	-5	-2	-7	-7

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4年	45	38	45	53	62	51	54	61	47	43	44	49	592
3年	50	50	65	52	63	86	75	74	64	71	53	74	777
比較	-5	-12	-20	1	-1	-35	-21	-13	-17	-28	-9	-25	-185



実績

(千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	6,600
4年	322	476	505	380	552	467	458		916	329	541	573	5,519
3年	465	432	608	441	626	790	554	575	549	563	406	698	6,707

〔介護保険〕

新規利用登録があるが、安定した利用につながらないケースも多い。12月頃より、体調不良の為に入院や入所される方が多くあった。

〔医療保険〕

週2回利用の方が、冬期間施設利用をされた。医療から介護保険になられた方もある。一人の利用者に対する訪問回数の変化が延利用回数に影響している。

〔新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に係る健康管理業務〕

5月(24回)499,400円、6月(18回)338,800円、7月(25回)535,700円、8月(59回)969,100円、2月(6回)217,800円

【東部介護保険課】

【通所事業】

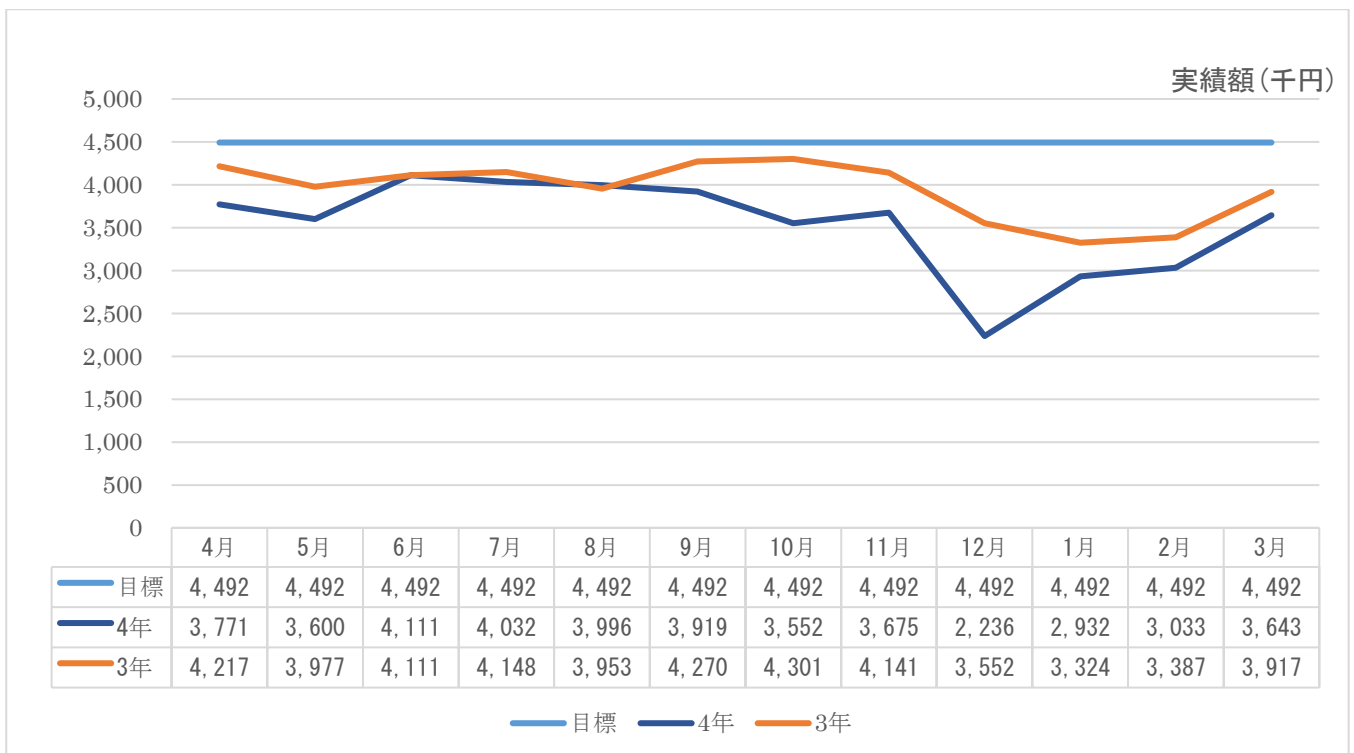
利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持・向上並びに利用者家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るという基本方針に基づき、ケアプランに沿ってサービスの提供に努める。

【介護・予防】月別利用者状況（実利用者）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	64	65	65	64	66	64							
4年	68	66	69	69	66	67	66	65	58	56	55	60	765
比較	-4	-1	-4	-5	0	-3							

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	420	472	483	441	477	455							
4年	443	438	475	456	467	446	429	443	256	352	373	429	5007
比較	-23	34	8	-15	10	9							



実績

単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	4,492	53,904
5年													
4年	3,771	3,600	4,081	4,032	3,996	3,919	3,552	3,675	2,236	2,932	3,033	3,643	42,470

介護職員の新型コロナウイルス感染症の陽性者、濃厚接触者は相次ぎ12月5日から要支援の方の利用制限を行い、12月19日から従来通りで利用を再開した。引き続き、感染対策に配慮しながらサービス提供を行っている。また、複数回利用される方（毎日利用者、週3回利用者）の入院、死亡、施設入所により、利用回数の変動が大きい月がある。

【訪問介護事業】

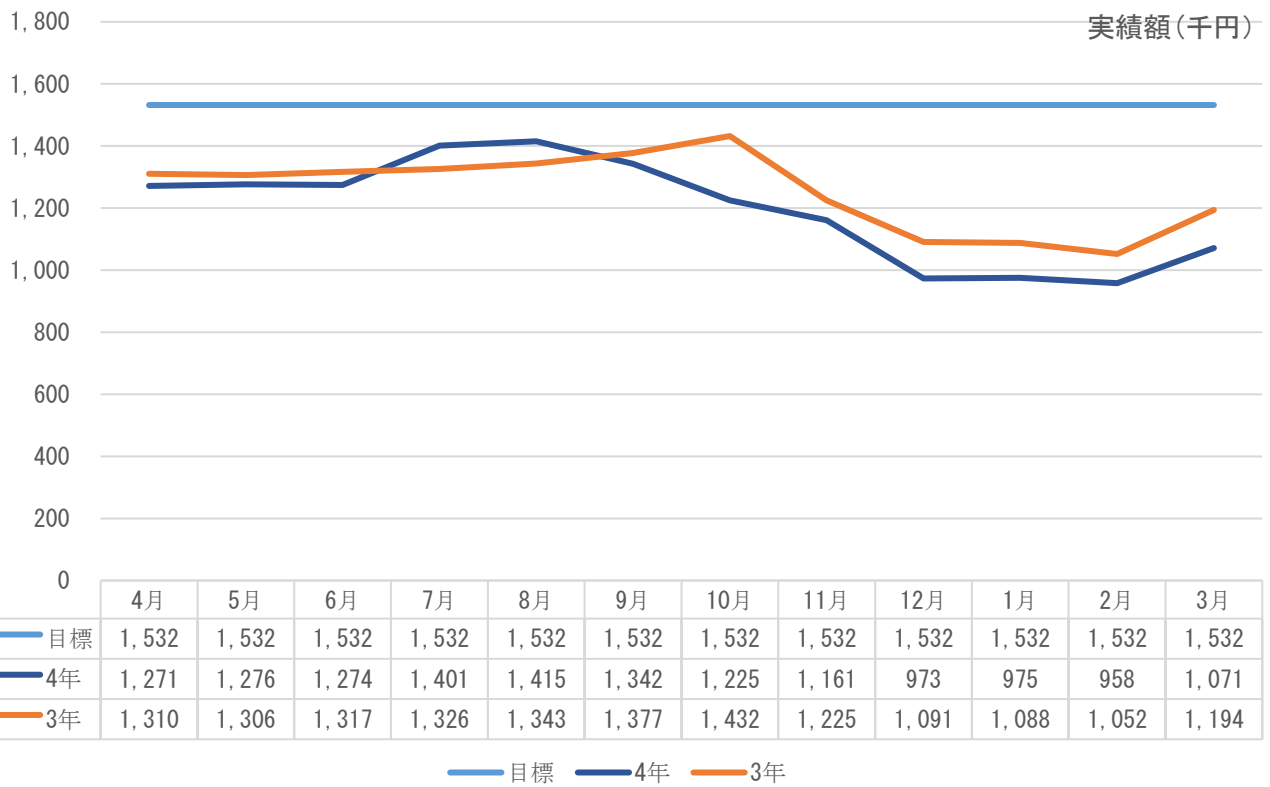
利用者の方の心身の状況や生活環境や意思等々を尊重して、在宅生活が維持・継続できるようケアプランに沿ってサービスの提供に心掛ける。

【介護・予防・総合事業】月別利用者状況 実利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	27	29	26	25	26	25							
4年	34	29	30	32	29	28	29	28	24	24	23	26	336
比較	-7	0	-4	-7	-3	-3							

延利用者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5年	250	279	259	236	234	230							
4年	294	298	284	306	306	288	287	269	226	227	226	272	3,283
比較	-44	-19	-25	-70	-72	-58							



実績

単位：千円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
目標	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	1,532	18,384
5年	1,271	1,276	1,274	1,401	1,415	1,342	1,225	1,161	973	975	958	1,071	14,342
4年	1,310	1,306	1,317	1,326	1,343	1,377	1,432	1,225	1,091	1,088	1,052	1,194	15,061

新型コロナウイルス感染防止の為、引き続き感染対策に配慮しながらサービス提供を行っている。
利用日数が多いご利用者が入所されたり、冬期間にショート利用された事により延利用者数の減少した月が見られる。

2. 軽度生活支援ハウス運営事業（安心センター居住）運営 *町委託事業

在宅において生活することが不安の思っておられる方に対し、必要に応じ住居を提供し自立生活の助長、身体機能の維持向上を図るとともに、相談助言、緊急時の対応を行い安心して、明るく生きがいのある生活を送っていただけるよう事業を実施する。

新型コロナウイルス感染予防については、感染状況において不要不急の外出を控えて頂き、ご家族へのご協力をお願いし感染防止に努める。

【利用定員】 居室15（17名～夫婦居室が2室）

【利用実績】 令和5年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	12	12	11	11	10	10							
延利用者数	337	368	330	311	310	300							

【利用実績】 令和4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	15	14	14	14	14	14	13	13	12	12	11	11	157
延利用者数	434	434	420	434	434	411	403	364	372	372	308	341	4,727

【利用実態】

令和5年度入居 2名 令和5年度退居 3名〔施設入所2名〕〔死亡1名〕

令和5年4月末現在入所者状況

一般	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	計
0	0	2	1	7	2	12

令和3年度入所 2名 令和3年度退所 2名〔施設入所 1、子供さん宅1〕

令和4年3月末現在入所者状況

一般	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	計
0	0	2	0	7	2	11